



田原地域づくりアンケート 結果報告書



令和5年8月
田原みらいづくり協議会

【田原地域づくりアンケート 結果報告書】

I. 概要

○ 調査目的

将来の“田原”についてみんなで考え、いつまでも安心して住み続けられる地域にするために、田原みらいづくり協議会では様々な取り組みを行っています。地域づくりを進めるためには、まず住民の声をお聞きし、地域の課題を見つけることが重要です。そこで、皆さんのが日ごろ考えていることやご意見を聞くためのアンケートを行いました。

○ 調査主体

田原みらいづくり協議会

○ 調査期間

令和5年2月20日から3月10日まで

○ 調査対象

田原地域にお住いの方の中から、市役所が無作為に選び出した
18歳から80歳までの1,200人

○ 実施方法

対象者にアンケートを郵送し、インターネット又は郵送により回答を回収、市役所で集計及び分析

○ 有効回収数

389通(回収率32.4%)

※田原の全住民(5,975人)の6.5%

○ 地区別回収率

地区	配布数	回収数	回収率
① 西田原	140	70	50.0%
② 上迫間	32	12	37.5%
③ 下迫間	47	14	29.8%
④ 小迫間	25	11	44.0%
⑤ 大杉	199	57	28.6%
⑥ 東田原	82	27	32.9%
⑦ 迫間台	203	60	29.6%
⑧ 桜台	311	105	33.8%
⑨ 向陽台	52	20	38.5%
⑩ 田原団地	71	1	1.4%
⑪ さくらみ	38	7	18.4%
不明(無回答)		5	
合計	1,200	389	32.4%

II. 回答分析

あなた自身についてお聞きします

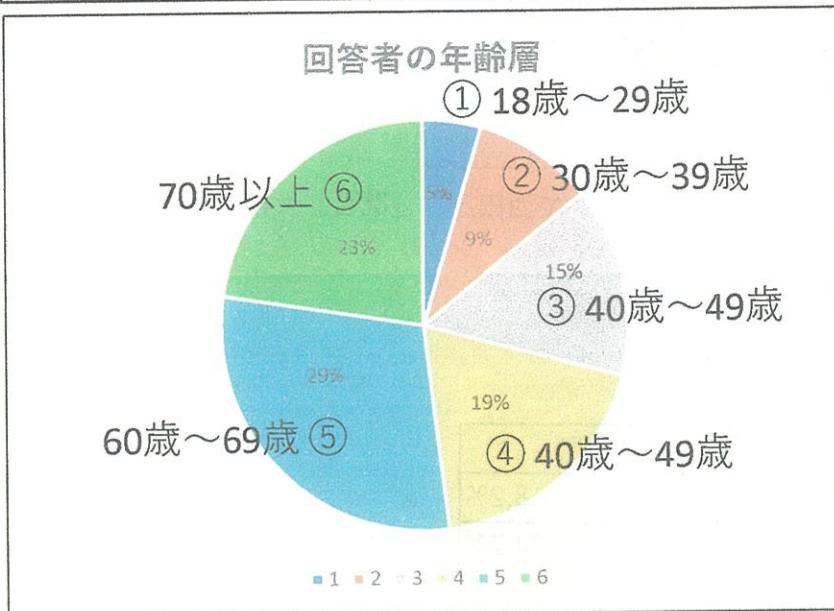
問1 あなたの性別はどちらですか。

性 別	回答数	割 合
① 男性	193	49.6%
② 女性	192	49.4%
③ その他	4	1.0%
合 計	389	100.0%

・回答者の性別は、男女ともほぼ同数であった。

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。

年齢区分	回答数	割 合
① 18歳～29歳	18	4.6%
② 30歳～39歳	37	9.5%
③ 40歳～49歳	58	14.9%
④ 50歳～59歳	74	19.0%
⑤ 60歳～69歳	114	29.3%
⑥ 70歳以上	88	22.6%
合 計	389	100.0%



・60歳以上の方々の回答が、半数を占めていました。

問3 あなたのお住まいはどこですか。

項目	回答数	割合
① 西田原	70	18.0%
② 上迫間	12	3.1%
③ 下迫間	14	3.6%
④ 小迫間	11	2.8%
⑤ 大杉	57	14.7%
⑥ 東田原	27	6.9%
⑦ 迫間台	60	15.4%
⑧ 桜台	105	27.0%
⑨ 向陽台	20	5.1%
⑩ 田原団地	1	0.3%
⑪ さくらみ	7	1.8%
不明（無回答）	5	1.3%
合計	389	100.0%

回答者の住まい



- アンケート回答者のお住まいは桜台が一番多く、次いで西田原、迫間台、大杉となっています。

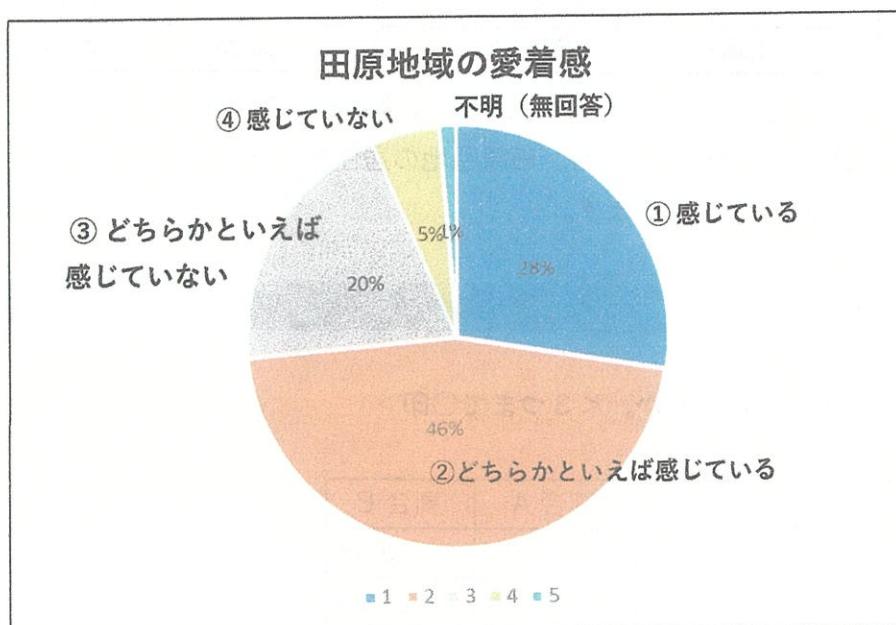
問4 あなたの世帯はどのような形態ですか。

項目	回答数	割合
① 単身世帯	32	8.2%
② 夫婦のみの世帯	135	34.7%
③ 夫婦と子どもの世帯（2世代）	138	35.5%
④ 3世代の世帯	56	14.4%
⑤ その他	27	6.9%
不明（無回答）	1	0.3%
合計	389	100.0%

- ・アンケート回答者の世帯は「夫婦と子どもの世帯（2世代）」が35.5%と一番多く、次いで、「夫婦のみの世帯」が34.7%となっています。

問5 あなたは、田原地域に対して愛着を感じていますか。<1つに○印>

項目	回答数	割合
① 感じている	107	27.5%
② どちらかといえば感じている	179	46.0%
③ どちらかといえば感じていない	78	20.1%
④ 感じていない	20	5.1%
不明（無回答）	5	1.3%
合 計	389	100.0%



性別・年齢別	① 感じている	② どちらかといえ ば感じている	③ どちらかといえ ば感じていない	④ 感じていない	不明 (無回答)	合 計
男性	① 18歳～29歳	33.3%	16.7%	50.0%		100.0%
	② 30歳～39歳	31.6%	36.8%	26.3%	5.3%	100.0%
	③ 40歳～49歳	22.6%	54.8%	22.6%		100.0%
	④ 50歳～59歳	25.0%	44.4%	22.2%	8.3%	100.0%
	⑤ 60歳～69歳	20.4%	66.7%	7.4%	3.7%	100.0%
	⑥ 70歳以上	48.9%	29.8%	17.0%	2.1%	100.0%
女性	① 18歳～29歳		50.0%	33.3%	16.7%	100.0%
	② 30歳～39歳	11.1%	55.6%	27.8%	5.6%	100.0%
	③ 40歳～49歳	25.9%	51.9%	18.5%	3.7%	100.0%
	④ 50歳～59歳	35.1%	35.1%	16.2%	13.5%	100.0%
	⑤ 60歳～69歳	27.6%	43.1%	22.4%	3.5%	100.0%
	⑥ 70歳以上	27.5%	47.5%	20.0%	5.0%	100.0%

居住地別	① 感じている	② どちらかといえ ば感じている	③ どちらかといえ ば感じていない	④ 感じていない	不明 (無回答)	合 計
① 西田原	40.0%	37.1%	12.9%	8.6%	1.4%	100.0%
② 上迫間	50.0%	33.3%	8.3%	8.3%		100.0%
③ 下迫間	42.9%	50.0%	7.1%			100.0%
④ 小迫間	36.4%	45.5%	18.2%			100.0%
⑤ 大杉	33.3%	42.1%	19.3%	3.5%	1.8%	100.0%
⑥ 東田原	37.0%	48.2%	14.8%			100.0%
⑦ 迫間台	25.0%	41.7%	25.0%	5.0%	3.3%	100.0%
⑧ 桜台	12.4%	55.2%	26.7%	5.7%		100.0%
⑨ 向陽台	25.0%	45.0%	20.0%	10.0%		100.0%
⑩ 田原団地			100.0%			100.0%
⑪ さくらみ		85.7%	14.3%			100.0%
不明 (無回答)	20.0%	40.0%	20.0%		20.0%	100.0%

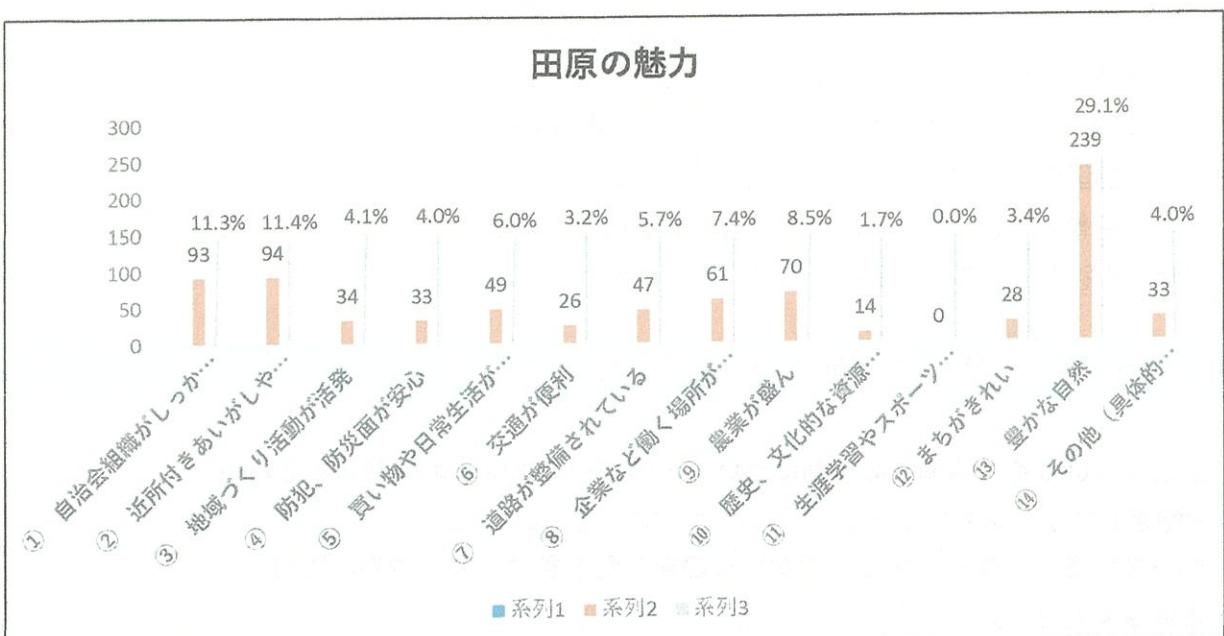
- 「愛着を感じている」と「どちらかと言えば愛着を感じている」を合わせた割合は、18歳～39歳（男性・女性）の年齢層と、迫間台、桜台、田原団地の居住地を除き、すべての年齢区分、居住地区分で70%を超えていました。

田原地域のまちづくりについてお聞きします

問6 あなたが思われる田原地域の魅力は何ですか。<3つまで○印>

項目	回答数	割合 A	割合 B
① 自治会組織がしっかりしている	93	11.3%	23.9%
② 近所付きあいがしやすい	94	11.4%	24.2%
③ 地域づくり活動が活発	34	4.1%	8.7%
④ 防犯、防災面が安心	33	4.0%	8.5%
⑤ 買い物や日常生活が便利	49	6.0%	12.6%
⑥ 交通が便利	26	3.2%	6.7%
⑦ 道路が整備されている	47	5.7%	12.1%
⑧ 企業など働く場所が近い	61	7.4%	15.7%
⑨ 農業が盛ん	70	8.5%	18.0%
⑩ 歴史、文化的な資源が豊富	14	1.7%	3.6%
⑪ 生涯学習やスポーツ活動が充実	0	0.0%	0.0%
⑫ まちがきれい	28	3.4%	7.2%
⑬ 豊かな自然	239	29.1%	61.4%
⑭ その他（具体的に： ）	33	4.0%	8.5%
合 計	821	100.0%	211.1%

注：割合 A は、回答数に対する割合を示す。割合 B は、回答者数に対する割合を示す。



性別・年齢別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	合計	
男性	① 18歳～29歳	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	200.0%
	② 30歳～39歳	21.1%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	15.8%	0.0%	10.5%	31.6%	5.3%	0.0%	0.0%	63.2%	10.5%	173.7%
	③ 40歳～49歳	12.9%	12.9%	3.2%	6.5%	12.9%	16.1%	9.7%	22.6%	25.8%	0.0%	0.0%	19.4%	51.6%	6.5%	200.0%
	④ 50歳～59歳	16.7%	19.4%	11.1%	8.3%	11.1%	8.3%	19.4%	2.8%	11.1%	0.0%	0.0%	16.7%	61.1%	16.7%	202.8%
	⑤ 60歳～69歳	37.0%	31.5%	9.3%	13.0%	7.4%	5.6%	24.1%	24.1%	7.4%	7.4%	0.0%	7.4%	53.7%	3.7%	231.5%
	⑥ 70歳以上	40.4%	25.5%	17.0%	17.0%	23.4%	10.6%	23.4%	8.5%	14.9%	2.1%	0.0%	4.3%	48.9%	8.5%	244.7%
女性	① 18歳～29歳	0.0%	16.7%	0.0%	8.3%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	8.3%	150.0%
	② 30歳～39歳	22.2%	33.3%	0.0%	5.6%	11.1%	0.0%	5.6%	5.6%	22.2%	5.6%	0.0%	11.1%	83.3%	16.7%	222.2%
	③ 40歳～49歳	0.0%	22.2%	14.8%	7.4%	7.4%	3.7%	7.4%	25.9%	29.6%	7.4%	0.0%	3.7%	81.5%	0.0%	211.1%
	④ 50歳～59歳	18.9%	27.0%	13.5%	2.7%	16.2%	2.7%	0.0%	16.2%	13.5%	0.0%	0.0%	5.4%	67.6%	8.1%	191.9%
	⑤ 60歳～69歳	24.1%	22.4%	3.5%	6.9%	17.2%	5.2%	10.3%	22.4%	22.4%	6.9%	0.0%	3.5%	75.9%	5.2%	225.9%
	⑥ 70歳以上	37.5%	37.5%	12.5%	5.0%	2.5%	2.5%	7.5%	12.5%	15.0%	2.5%	0.0%	2.5%	52.5%	10.0%	200.0%

居住地別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	合計
① 西田原	24.3%	25.7%	11.4%	2.9%	11.4%	8.6%	8.6%	14.3%	20.0%	0.0%	0.0%	7.1%	52.9%	10.0%	197.2%
② 上迫間	25.0%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	41.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	91.7%	0.0%	225.0%
③ 下迫間	35.7%	35.7%	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	21.4%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	78.6%	0.0%	228.6%
④ 小迫間	36.4%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	9.1%	200.0%
⑤ 大杉	19.3%	29.8%	3.5%	3.5%	14.0%	7.0%	7.0%	12.3%	26.3%	3.5%	0.0%	3.5%	57.9%	12.3%	200.0%
⑥ 東田原	37.0%	18.5%	7.4%	14.8%	14.8%	7.4%	11.1%	14.8%	33.3%	3.7%	0.0%	3.7%	59.3%	3.7%	229.6%
⑦ 迫間台	16.7%	23.3%	10.0%	11.7%	3.3%	0.0%	10.0%	25.0%	10.0%	3.3%	0.0%	13.3%	66.7%	10.0%	203.3%
⑧ 桜台	23.8%	19.1%	5.7%	14.3%	23.8%	6.7%	23.8%	11.4%	10.5%	6.7%	0.0%	10.5%	64.8%	5.7%	226.7%
⑨ 向陽台	30.0%	15.0%	20.0%	10.0%	0.0%	15.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	5.0%	55.0%	20.0%	210.0%
⑩ 田原団地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
⑪ さくらみ	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	200.0%
不明（無回答）	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	180.0%

- ・アンケート回答者の約6割の方が、「豊かな自然」を田原の魅力としています。
- ・「豊かな自然」に続いて、「自治会組織がしっかりしている」「近所付き合いがしやすい」を魅力としています。良好なコミュニティー活動が形成されていると思われます。
- ・すべての年齢区分で「豊かな自然」が第1位になっています。
- ・年齢区分で比較しても、上位5位以内に含まれる項目にほとんど差異はなく、田原地域の住民が考える魅力は、年齢に関係なくほぼ同じであると考えられます。

田原みらいづくり協議会の活動についてお聞きします

問7 田原みらいづくり協議会の活動についての評価や、見直しの参考とするため
お聞きします。あてはまるものに○をつけてください。

※ 3. 知っているが、参加したことがないに○をしたときは、カッコ内に理由も
お書きください。

活動内容	1. 参加した	3. 知っているが、参加したことがない	2. 知らない	不明	合計
① チャレンジ七夕	17.22%	24.68%	52.44%	5.66%	100.00%
② 地域の歴史に親しむ	6.17%	19.79%	67.87%	6.17%	100.00%
③ 田原みんなのおうち	4.63%	17.74%	71.72%	5.91%	100.00%
④ 子育て支援のイベント	9.77%	18.77%	65.55%	5.91%	100.00%
⑤ ピアノコンサートの開催	12.08%	19.54%	61.18%	7.20%	100.00%
⑥ 田原ふれあいウォーキング大会	17.22%	41.13%	36.76%	4.89%	100.00%
⑦ 田原ふれあいグラウンドゴルフ	25.96%	35.48%	33.42%	5.14%	100.00%
⑧ 防災・減災活動	46.53%	11.05%	34.96%	7.46%	100.00%
⑨ 交通安全活動	37.28%	15.42%	40.62%	6.68%	100.00%
⑩ ホタル観察会	12.85%	26.99%	53.73%	6.43%	100.00%
⑪ 田原の遠足	6.17%	14.40%	72.75%	6.68%	100.00%
⑫ 田原ふれあい文化祭	42.16%	19.79%	33.68%	4.37%	100.00%
⑬ 女性の為の講座	6.43%	18.77%	68.12%	6.68%	100.00%
⑭ ふるさとだより「みらい」（広報紙）		61.44%	34.70%	3.86%	100.00%
⑮ ホームページによる情報発信		21.08%	73.78%	5.14%	100.00%

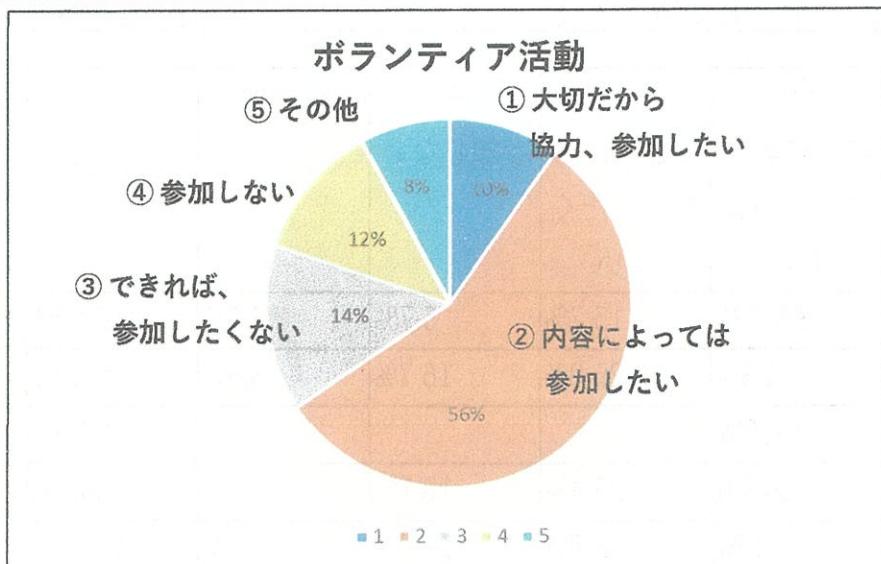
- ・参加した活動が一番多かったのが「⑧ 防災・減災活動」でした。
- 次いで「⑫ 田原ふれあい文化祭」「⑨ 交通安全活動」「⑦ 田原ふれあいグラウンドゴルフ」の順になっています。
- ・知っているが参加したことがない活動で一番多いのは「⑥ 田原ふれあいウォーキング大会」でした。
- ・一番知られていないのは、「⑪ 田原の遠足」、次いで「③ 田原みんなのおうち」でした。

地域貢献やボランティアについてお聞きします

問8 あなたは、地域貢献活動やボランティア活動についてどのように思われますか。

<1つに○印>

項目	回答数	割合
① 大切だから協力、参加したい	38	9.8%
② 内容によっては参加したい	217	55.8%
③ できれば、参加したくない	57	14.7%
④ 参加しない	46	11.8%
⑤ その他（具体的に：）	31	8.0%
合 計	389	100.0%



性別・年齢別		① 大切なから 協力、参加 したい	② 内容によっ ては参加し たい	③ できれば、 参加したく ない	④ 参加しない	その他	合 計
男性	① 18歳～29歳		66.7%	16.7%	16.7%		100.0%
	② 30歳～39歳	10.5%	47.4%	31.6%	5.3%	5.3%	100.0%
	③ 40歳～49歳	3.2%	61.3%	19.4%	9.7%	6.5%	100.0%
	④ 50歳～59歳	11.1%	52.8%	19.4%	8.3%	8.3%	100.0%
	⑤ 60歳～69歳	5.6%	57.4%	16.7%	11.1%	9.3%	100.0%
	⑥ 70歳以上	25.5%	61.7%	6.4%	2.1%	4.3%	100.0%
女性	① 18歳～29歳	8.3%	50.0%	16.7%	25.0%		100.0%
	② 30歳～39歳		44.4%	11.1%	22.2%	22.2%	100.0%
	③ 40歳～49歳	7.4%	55.6%	22.2%	11.1%	3.7%	100.0%
	④ 50歳～59歳	10.8%	59.5%	10.8%	16.2%	2.7%	100.0%
	⑤ 60歳～69歳	6.9%	60.3%	12.1%	10.3%	10.3%	100.0%
	⑥ 70歳以上	12.5%	47.5%	7.5%	17.5%	15.0%	100.0%

世帯構成別	① 大切だから 協力、参加 したい	② 内容によっ ては参加し たい	③ できれば、 参加したくな い	④ 参加しない	その他	合 計
① 単身世帯	3.1%	56.3%	9.4%	21.9%	9.4%	100.0%
② 夫婦のみの世帯	11.1%	59.3%	11.9%	6.7%	11.1%	100.0%
③ 夫婦と子どもの 世帯(2世代)	8.7%	52.2%	20.3%	13.0%	5.8%	100.0%
④ 3世代の世帯	14.3%	51.8%	14.3%	16.1%	3.6%	100.0%
⑤ その他	7.4%	63.0%	7.4%	11.1%	11.1%	100.0%
不明(無回答)		100.0%				100.0%

世帯構成別	① 大切だから 協力、参加 したい	② 内容によっ ては参加し たい	③ できれば、 参加したくな い	④ 参加しない	その他	合 計
① 西田原	14.3%	55.7%	15.7%	5.7%	8.6%	100.0%
② 上迫間	16.7%	33.3%	25.0%	16.7%	8.3%	100.0%
③ 下迫間	14.3%	71.4%			14.3%	100.0%
④ 小迫間	9.1%	36.4%	36.4%	18.7%		100.5%
⑤ 大杉	10.5%	56.1%	8.8%	19.3%	5.3%	100.0%
⑥ 東田原	7.4%	55.6%	14.8%	14.8%	7.4%	100.0%
⑦ 迫間台	6.7%	55.0%	15.0%	15.0%	8.3%	100.0%
⑧ 桜台	5.7%	60.0%	14.3%	11.4%	8.6%	100.0%
⑨ 向陽台	15.0%	65.0%		10.0%	10.0%	100.0%
⑩ 田原団地			100.0%			100.0%
⑪ さくらみ	14.3%	28.6%	57.1%			100.0%
不明 (無回答)	20.0%	40.0%	20.0%		20.0%	100.0%

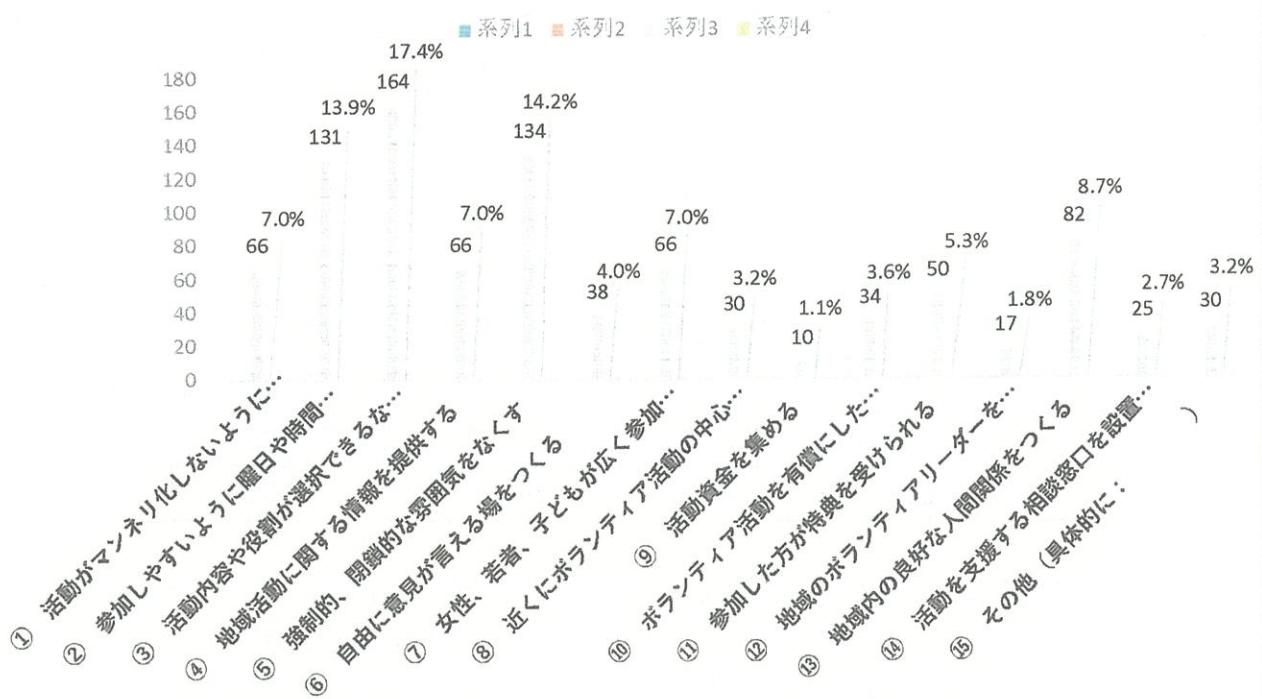
- ・田原地域の約60%の人が、地域貢献活動やボランティア活動に参加する意思があります。誰もが参加しやすい環境をつくれば、多くの人の参加を得ることができ、大きな力が生まれる可能性があります。
- ・「参加したくない(参加しない)」と答えた人の約50%が「参加する時間ががない」を理由としています。参加しやすい曜日や時間にするなどの工夫が必要です。

問9 地域貢献活動やボランティア活動に多くの人が参加するためには、
どのようなことが必要だと思いますか。<3つまで○印>

項目	回答数	割合 A	割合 B
① 活動がマンネリ化しないようにする	66	7.0%	17.0%
② 参加しやすいように曜日や時間を設定する	131	13.9%	33.7%
③ 活動内容や役割が選択できるなど個人の負担を軽くする	164	17.4%	42.2%
④ 地域活動に関する情報を提供する	66	7.0%	17.0%
⑤ 強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす	134	14.2%	34.4%
⑥ 自由に意見が言える場をつくる	38	4.0%	9.8%
⑦ 女性、若者、子どもが広く参加できる機会をつくる	66	7.0%	17.0%
⑧ 近くにボランティア活動の中心となる場所・施設をつくる	30	3.2%	7.7%
⑨ 活動資金を集めめる	10	1.1%	2.6%
⑩ ボランティア活動を有償にしたり、謝礼を支給する	34	3.6%	8.7%
⑪ 参加した方が特典を受けられる	50	5.3%	12.9%
⑫ 地域のボランティアリーダーを育成する	17	1.8%	4.4%
⑬ 地域内の良好な人間関係をつくる	82	8.7%	21.1%
⑭ 活動を支援する相談窓口を設置する	25	2.7%	6.4%
⑮ その他（具体的に：）	30	3.2%	7.7%
合計	943	100.0%	242.4%

注：割合 A は、回答数に対する割合を示す。割合 B は、回答者数に対する割合を示す。

ボランティア活動の参加を多くする為の対策



性別・年齢別		① 活動がマンネリ化しないようになる	② 参加しやすいように曜日や時間を設定する	③ 活動内容や役割が選択できるなど個人の負担を軽くする	④ 地域活動に開催される情報を探供する	⑤ 強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす	⑥ 自由に意見が言える場をつくる	⑦ 女性、若者、子どもが広く参加できる機会をつくる	⑧ 近くにボランティア活動の中心となる場所・施設をつくる	⑨ 活動資金を集め	⑩ ボランティア活動を有償にしたり、謝礼を支給する	⑪ 参加した方が待合を受けられる	⑫ ティアリー・ボランティアのボランティアを育成する	⑬ 地域内の良好な人間関係をつくる	⑭ 活動を支援する相談窓口を設置する	⑮ その他	合計
男性	① 18歳～29歳	16.7%	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	283.3%	
	② 30歳～39歳	5.3%	21.1%	10.5%	10.5%	52.6%	26.3%	31.6%	0.0%	0.0%	21.1%	15.8%	0.0%	26.3%	5.3%	5.3%	231.6%
	③ 40歳～49歳	0.0%	35.5%	38.7%	19.4%	48.4%	6.5%	12.9%	0.0%	0.0%	12.9%	19.4%	3.2%	22.6%	6.5%	9.7%	235.5%
	④ 50歳～59歳	11.1%	25.0%	47.2%	13.9%	41.7%	8.3%	8.3%	8.3%	2.8%	11.1%	8.3%	2.8%	33.3%	5.6%	8.3%	236.1%
	⑤ 60歳～69歳	18.5%	42.6%	42.6%	16.7%	35.2%	11.1%	11.1%	5.6%	3.7%	13.0%	5.6%	3.7%	20.4%	7.4%	13.0%	250.0%
	⑥ 70歳以上	27.7%	36.2%	36.2%	29.8%	34.0%	10.6%	12.8%	8.5%	6.4%	4.3%	10.6%	4.3%	17.0%	8.5%	12.8%	259.6%
女性	① 18歳～29歳	0.0%	25.0%	50.0%	8.3%	50.0%	8.3%	33.3%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	216.6%
	② 30歳～39歳	11.1%	27.8%	44.4%	11.1%	38.9%	5.6%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	38.9%	0.0%	11.1%	5.6%	5.6%	244.5%
	③ 40歳～49歳	7.4%	48.2%	40.7%	14.8%	25.9%	3.7%	33.3%	3.7%	3.7%	11.1%	25.9%	0.0%	14.8%	3.7%	0.0%	237.0%
	④ 50歳～59歳	21.6%	32.4%	54.1%	16.2%	32.4%	5.4%	13.5%	2.7%	5.4%	10.8%	24.3%	2.7%	8.1%	2.7%	0.0%	232.4%
	⑤ 60歳～69歳	19.0%	27.6%	58.6%	15.5%	22.4%	3.5%	22.4%	19.0%	0.0%	0.0%	6.9%	1.7%	31.0%	8.6%	6.9%	243.1%
	⑥ 70歳以上	32.5%	35.0%	27.5%	17.5%	30.0%	20.0%	12.5%	5.0%	0.0%	5.0%	2.5%	22.5%	20.0%	10.0%	7.5%	247.5%

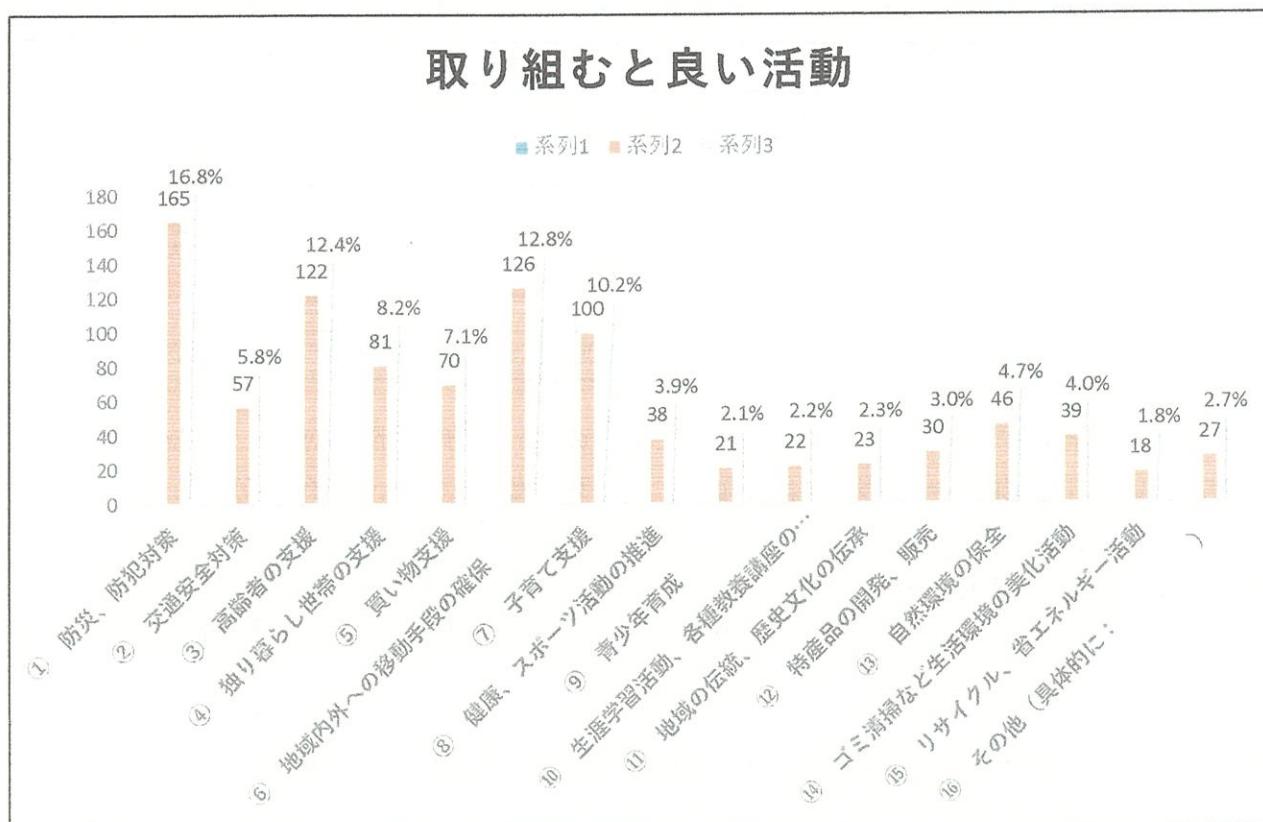
居住地別		① 活動がマンネリ化しないようになる	② 参加しやすいように曜日や時間を設定する	③ 活動内容や役割が選択できるなど個人の負担を軽くする	④ 地域活動に開催される情報を探供する	⑤ 強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす	⑥ 自由に意見が言える場をつくる	⑦ 女性、若者、子どもが広く参加できる機会をつくる	⑧ 近くにボランティア活動の中心となる場所・施設をつくる	⑨ 活動資金を集め	⑩ ボランティア活動を有償にしたり、謝礼を支給する	⑪ 参加した方が待合を受けられる	⑫ ティアリー・ボランティアのボランティアを育成する	⑬ 地域内の良好な人間関係をつくる	⑭ 活動を支援する相談窓口を設置する	⑮ その他	合計
① 西田原	11.4%	40.0%	37.1%	17.1%	34.3%	11.4%	17.1%	4.3%	2.9%	14.3%	15.7%	4.3%	12.9%	5.7%	5.7%	234.3%	
② 上迫間	25.0%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	8.3%	233.3%	
③ 下迫間	21.4%	50.0%	21.4%	35.7%	57.1%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	21.4%	7.1%	14.3%	271.4%	
④ 小迫間	0.0%	18.2%	18.2%	18.2%	36.4%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%	36.4%	9.1%	218.2%	
⑤ 大杉	22.8%	35.1%	45.6%	12.3%	40.4%	5.3%	15.8%	7.0%	5.3%	8.8%	24.6%	3.5%	24.6%	5.3%	3.5%	259.6%	
⑥ 東田原	11.1%	37.0%	40.7%	18.5%	29.6%	14.8%	18.5%	7.4%	3.7%	0.0%	0.0%	11.1%	25.9%	7.4%	11.1%	237.0%	
⑦ 迫間台	16.7%	30.0%	60.0%	18.3%	28.3%	8.3%	15.0%	3.3%	0.0%	6.7%	13.3%	5.0%	21.7%	3.3%	15.0%	245.0%	
⑧ 桜台	19.1%	30.5%	41.9%	13.3%	37.1%	11.4%	15.2%	10.5%	1.9%	7.6%	8.6%	5.7%	21.9%	6.7%	3.8%	235.2%	
⑨ 向陽台	15.0%	50.0%	25.0%	25.0%	15.0%	15.0%	25.0%	15.0%	5.0%	20.0%	20.0%	0.0%	10.0%	5.0%	15.0%	260.0%	
⑩ 田原園地	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	200.0%	
⑪ さくらみ	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	71.4%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	257.2%	
不明(無回答)	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	220.0%	

- 年齢区分に関係なく最も必要と思われる取り組みは「⑤ 強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす」
- 次に「② 参加しやすいように曜日や時間を設定する」「③ 活動内容や役割が選択できるなど個人の負担を軽くする」の順になっています。

問10 あなたは、田原地域の住民が力を合わせて、取り組むと良いと思われることは何ですか。<3つまで○印>

項目	回答数	割合 A	割合 B
① 防災、防犯対策	165	16.8%	42.4%
② 交通安全対策	57	5.8%	14.7%
③ 高齢者の支援	122	12.4%	31.4%
④ 独り暮らし世帯の支援	81	8.2%	20.8%
⑤ 買い物支援	70	7.1%	18.0%
⑥ 地域内外への移動手段の確保	126	12.8%	32.4%
⑦ 子育て支援	100	10.2%	25.7%
⑧ 健康、スポーツ活動の推進	38	3.9%	9.8%
⑨ 青少年育成	21	2.1%	5.4%
⑩ 生涯学習活動、各種教養講座の開催	22	2.2%	5.7%
⑪ 地域の伝統、歴史文化の伝承	23	2.3%	5.9%
⑫ 特產品の開発、販売	30	3.0%	7.7%
⑬ 自然環境の保全	46	4.7%	11.8%
⑭ ゴミ清掃など生活環境の美化活動	39	4.0%	10.0%
⑮ リサイクル、省エネルギー活動	18	1.8%	4.6%
⑯ その他（具体的に：）	27	2.7%	6.9%
合計	985	100.0%	253.2%

注：割合 A は、回答数に対する割合を示す。割合 B は、回答者数に対する割合を示す。



性別・年齢別		① 防災、防犯対策 策	② 交通安全対策	③ 高齢者の支援 等の支援	④ 独り暮らし世 帯の支援	⑤ 買い物支援	⑥ 地域内外への 移動手段の確 保	⑦ 子育て支援	⑧ 健康、スポー ツ活動の推進	⑨ 青少年育成 活動、各種教養 講座の開催	⑩ 生涯学習活 動、歴史文化の伝 承	⑪ 地域の伝統、 歴史文化の伝 承	⑫ 特産品の開 発、販売	⑬ 自然環境の保 全	⑭ ゴミ清掃など 生活環境の美 化活動	⑮ リサイクル、 省エネルギー 活動	⑯ その他	合計
男性	① 18歳～29歳	16.8%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	266.8%	
	② 30歳～39歳	47.4%	31.6%	5.3%	0.0%	15.8%	26.3%	52.6%	26.3%	0.0%	5.3%	10.5%	15.8%	15.8%	0.0%	0.0%	252.6%	
	③ 40歳～49歳	19.4%	29.0%	16.1%	16.1%	22.6%	16.1%	41.9%	9.7%	12.9%	0.0%	3.2%	6.5%	12.9%	22.6%	3.2%	3.2%	235.5%
	④ 50歳～59歳	44.4%	16.7%	38.9%	27.8%	11.1%	25.0%	27.8%	11.1%	8.3%	5.6%	0.0%	8.4%	11.1%	11.1%	5.6%	5.6%	258.4%
	⑤ 60歳～69歳	50.0%	14.8%	35.2%	27.8%	14.8%	24.1%	14.8%	11.1%	5.6%	3.7%	13.0%	1.9%	9.3%	18.5%	0.0%	11.1%	255.5%
	⑥ 70歳以上	53.2%	12.8%	38.3%	25.5%	12.8%	36.2%	14.9%	8.5%	6.4%	8.5%	10.6%	4.3%	17.0%	6.4%	4.3%	10.6%	270.2%
女性	① 18歳～29歳	50.0%	8.3%	16.7%	8.3%	16.7%	25.0%	75.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	250.0%
	② 30歳～39歳	38.9%	11.1%	38.9%	11.1%	16.7%	38.9%	50.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	16.7%	0.0%	11.1%	244.5%
	③ 40歳～49歳	48.2%	11.1%	22.2%	14.8%	25.9%	33.3%	25.9%	0.0%	7.4%	3.7%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	29.6%	0.0%	266.7%
	④ 50歳～59歳	29.7%	13.5%	46.0%	21.6%	24.3%	43.2%	29.7%	8.1%	0.0%	5.4%	5.4%	8.1%	2.7%	5.4%	0.0%	8.1%	251.4%
	⑤ 60歳～69歳	43.1%	8.6%	36.2%	27.6%	22.4%	32.8%	20.7%	8.6%	0.0%	10.3%	6.9%	10.3%	15.5%	10.3%	5.2%	3.5%	262.1%
	⑥ 70歳以上	45.0%	7.5%	17.5%	15.0%	17.5%	52.5%	7.5%	17.5%	7.5%	10.0%	2.5%	2.5%	7.5%	5.0%	5.0%	7.5%	227.5%

居住地別		① 防災、防犯対策 策	② 交通安全対策	③ 高齢者の支援 等の支援	④ 独り暮らし世 帯の支援	⑤ 買い物支援	⑥ 地域内外への 移動手段の確 保	⑦ 子育て支援	⑧ 健康、スポー ツ活動の推進	⑨ 青少年育成 活動、各種教養 講座の開催	⑩ 生涯学習活 動、歴史文化の伝 承	⑪ 地域の伝統、 歴史文化の伝 承	⑫ 特産品の開 発、販売	⑬ 自然環境の保 全	⑭ ゴミ清掃など 生活環境の美 化活動	⑮ リサイクル、 省エネルギー 活動	⑯ その他	合計
① 西田原	35.7%	18.6%	18.6%	15.7%	14.3%	35.7%	21.4%	10.0%	4.3%	5.7%	4.3%	8.6%	11.4%	14.3%	5.7%	7.1%	231.4%	
② 上迫間	33.3%	16.7%	41.7%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	41.7%	25.0%	0.0%	0.0%	233.3%	
③ 下迫間	50.0%	0.0%	7.1%	21.4%	14.3%	42.9%	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	21.4%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	257.2%	
④ 小迫間	27.3%	0.0%	36.4%	27.3%	9.1%	27.3%	36.4%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	236.3%
⑤ 大杉	35.1%	17.5%	31.6%	19.3%	14.0%	29.8%	33.3%	8.8%	7.0%	1.8%	5.3%	15.8%	14.0%	10.5%	7.0%	5.3%	256.1%	
⑥ 東田原	37.0%	25.9%	29.6%	7.4%	18.5%	11.1%	40.7%	11.1%	7.4%	7.4%	7.4%	3.7%	18.5%	25.9%	0.0%	7.4%	259.3%	
⑦ 迫間台	43.3%	10.0%	35.0%	16.7%	30.0%	40.0%	21.7%	10.0%	6.7%	8.3%	5.0%	5.0%	8.3%	3.3%	6.7%	8.3%	258.3%	
⑧ 桜台	50.5%	13.3%	36.2%	31.4%	20.0%	37.1%	20.0%	7.6%	4.8%	4.8%	6.7%	6.7%	8.6%	9.5%	1.9%	4.8%	283.8%	
⑨ 向陽台	55.0%	20.0%	60.0%	25.0%	10.0%	25.0%	30.0%	10.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	10.0%	275.0%	
⑩ 田原団地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
⑪ さくらみ	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	214.3%	
不明(無回答)	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	280.0%	

- ・住民が力を合わせて取り組むと良いと思われているのは、「防災、防犯対策」が42.4%と多く、次いで「地域内外への移動手段の確保」、「高齢者の支援」、「子育て支援」が多くなっています。
- ・年齢別で見ても、ほぼ全ての年齢層で「防災、防犯対策」が必要と考えられており、防災防犯意識の高さがうかがえます。また、「30歳～70歳以上の（女性）」の多くが「地域内外への移動手段の確保」、「18歳～29歳（女性）」「30歳～39歳（男性・女性）」「40歳～49歳（男性）」が「子育て支援」、「18歳～29歳」を含めた幅広い年齢層で「高齢者の支援」を必要であると考えられています。各年齢層で少しかかえる課題が異なっています。

- ・50歳以上の年齢区分では、取り組むと良いと思われることがほぼ同じ内容になっています。また、かかえる課題が共通していると思われます。

あなたの意見を自由に記入してください

問11 田原地域について、あなたの意見を自由にご記入ください。

(例) 住みよい地域にするためには…、地域の魅力は…、
住民の絆を深めるためには… など

【コミュニティー・交流】

1.	自治会をやめる人が年々増えています。その時点で絆を深めすることが難しくなっています。田原地域内でもどのくらいの世帯が自治会に加入していないかがわかると参考になります。
2.	私達は田原に市内から来ました。だけど初めは新参者と言われました。若い方たちが自由に生活ができるように。
3.	あまり活気を感じられなくさみしく感じます。 生まれは愛知県ですが、とても閉鎖的でやりにくさを感じことがある。町内会費は関市内の銀行のみとか、今どきありえない。
4.	コロナ禍の影響もあり、自治会のお祭りもなくなってしまいましたが、子供のころの思い出 なつかしい記憶 円滑な近所づきあいの貢献にもなっていたような気がしています。そんな気負うことなく、興味あることに気が向いた時、勝手すぎますが参加できることがあれば付き合いも広げていけそうな気がします。
5.	田原集会場拡大と、多種多様の趣味娯楽も。
6.	高齢化が進み一人世帯でも住みやすい地域になるように願います。 最近の犯罪等、いろいろな事件が多発している中、地域の繋がりが必要かと思います。 また、買い物しやすく病院に行くための交通手段がもう少し充実すると良いと思います。
7.	新しく転入してくる世帯もあり自治会の見直しは必要なのでは。
8.	地域によって違いはあると思いますが、昔のように皆で集まり何かをすることを敬遠する傾向があり、近所どうしでも付き合いが希薄になっていると思います。 どうしたら気楽に、また自然につながるようになるのだろうと！自然の中に、屋外で楽に集える春、秋、良い季節のおしゃれカフェとか！とりたて野菜コーナーとか！ちょっと顔出したくなる場所…ふるさと農園とかもあるし～、つながりは難しいです。
9.	地域として大変空気と自然が良く、大変住みよいです。また自治会の努力もされていますから大変良いです。これからは他方から人が集まれるような公園またはキャンプ場ができれば良いと思います。田原地域に人が集まる場所を計画されると良いと思います。（迫間の山の自然を利用して考えてはどうでしょうか？）
10.	現在、田原地区においては地域をイメージする場所が無いように感じます。緑地公園、喫茶、駄菓子屋等の設置。これらのエリアを起点としたイベントの開催。高齢でも健康志向で早朝から散歩されている方が大勢いらっしゃいますので敷居の低い体操レベルからで如何でしょうか。生き甲斐になるかもしれませんよ。まずは人が集まる場所を設置しましょう。
11.	地域活動の広報をもっとお願いしたい。参加の具体的方法もその際にお知らせ願いたい。 何が、いつ、どこで行われているのかがわからないままのことが多い気がします。

12.	地域の情報、ふれあいセンターの催しなどを回覧で回すとより効果あると思います。 必ず全家庭で見られますので。
13.	住民一人一人の意識改革が必要である。
14.	他地域から転入した人にとっては、田原地区は閉鎖的で他者を受け入れない雰囲気がある。住民同士の絆を深めようとするなら、自治会組織の体制や役員の選出方法等、地域の基盤となる組織の改革が必要と思う。
15.	自然が豊かで歴史的にも名所のある田原地域に住めて幸せを感じています。問7にあるような活動をぜひ続けて下さい。時間的に余裕のない私ですが、日時、場所、内容によっては都合がつけられる気がします。田原小学校に通う子どもたちが元気に挨拶してくれて嬉しいです。学校関係者だけでなく、学識経験者の方々に活躍して頂けたらと思います。
16.	自然豊かで、静かな暮らしが安心して出来るという魅力はあるものの、中途半端な印象。若年層にとって、家族で楽しめる場所、物が有るか、地域に対して、誇れるものがあるかどうかと思うと、微妙なところ。イチゴ狩りなどの施設のPR、キャンプ場や釣り場など人が楽しめる場所作りが必要になってしまそう。
17.	若い人たちが、住みたいと思えるような地域にする事がやはり、重要だと思います。
18.	最近は人々が参加する催しもなくなり、私も含めて地域の人が集まることが少なくなり寂しい気がします。お祭りの盆踊りも私は残して欲しいと思います。コロナのせいもあります。皆さんがそれぞれ忙しいせいもあります。もっと活動の発信をお願いします。私も反省したいと思います。川岸の桜が草やつるで咲かなくなつたので整備してほしいです。
19.	進学でこちらに来ている若者などは田原地域に対して愛着が湧きづらいかもしれないが、その若者が参加したくなるような活動があつたりすると活性化につながると思います。
20.	皆が仲良くする。
21.	隣近所の交流がない。
22.	各地区ごとのふれ合いの場や、参加しやすい、催しが出来ると良い。 田原みんなのおうちなど各地区を回ってはどうか？
23.	趣味等のサークルが多くあれば人間関係も増し、ボランティアもそこから増すのでは？
24.	田原地域は皆さんよい方が多く住みやすい所でしたが、外国人が多くなり車の解体屋からはボヤが何回も何回も出ます。朝の通勤ラッシュ時には我が物顔で車をど真ん中に止め、とても迷惑をしています。近所の田畠の方は色々な物が盗まれ困っています。外国人をなるべく住ませないでください。外来種などのセイタカアワダチ草は刈ってほしいです！！
25.	地域の人が積極的に参加できるよう、老若男女が楽しめる行事を開催することにより、顔見知りが多く絆を深めることにつながる。コロナ禍で難しいが、皆でゲーム、食事、お土産もあるような行事があると、子供も親も積極的に参加できるのでは…。夏祭りのような屋台がある、金魚すくいがある、ヨーヨーつりがあるなど。
26.	人間同士の（地域）付き合い方が薄くなつたような気がします。
27.	新しく、入居する人に、届けた時点に、地区の習慣、行事、慣例などをプリントした資料を必ず渡す制度を作つてほしい。
28.	住人とのあいさつ。
29.	若者が参加しやすい行事をつくる。
30.	人が優しい。コロナで催しを中止にするのはやめましょう。病人は増えません。

31.	結婚をしない若者が多く少子化になっていく。個人情報の機密保持の法律があって仲人をする人もいなくなっている。時代の流れか子どもたちが外で遊ばなくなつた。静かすぎる。
32.	最近他市から移転してきたばかりなので田原地域についてあまり分かりませんが、住みよい地域だと思います。永住するつもりです。もっと田原地域について知りたいと思っています。
33.	田原全体での交流を増やしていけば地域全体でつながりができる、顔見知りも増えて生活も楽しくなると思う。コロナで地域のお祭りができなくなつて、地域の人さえわからないことが増えました。
34.	農業が盛んで自然豊かで静かでのびのびとしやすいです。庭で作業をしていたら近くの畠で収穫した野菜をお裾分けしていただきとても嬉しかったです。 これから子育て世代となっていく私たちにとって、みなさんご迷惑をおかけすることもあるかもしれません、どんな日々になっていくのかとても楽しみに思っています。
35.	古くからの慣習にばかりとらわれず、新しいことも取り入れる。今の時代にあった考え方、行いをするべき。昔よく言われました。東田原に100年以上住まないと同じ町内の人として認められないと。間違った事を間違ったままで、それを直そうという考え方をしない。新しく引っ越してきた人が自由にものが言えるようになりたい。
36.	団地住民の中でも交流が少ない中、団地外の地元の人たちと話す機会がない中での地域発展は論議にならない。
37.	・登校中の学生が近所の人にはいさつできるような地域になってほしい。 ・他の地区から来た人に対して閉鎖的な地域ではなく受入れて、仲良くできるような地区であってほしい。
38.	大杉お日待ちは、役員のみずっとやってほしい。公民館で春、秋2回全員集まってやるのはやめてほしい（コロナで密になるのはイヤ）。
39.	近隣住民との関わりがほとんど無い。
40.	田舎特有の閉鎖感を無くさないと今のままだと。
41.	外人の方が増えて、近所付き合いも減りました。ごみのポイ捨てが多く、大変迷惑しているのですが、解決方法が見つかりません。言葉が通じない為ゴミの分別にも困っています。
42.	ボランティアリーダーを育成し住民が集りやすい場所でさまざまなイベントを開催する。誘い合って参加する気持ちが起きるように人間関係をつくる。
43.	地域活動がコロナで中止となつてしましましたがやはり地域活動は大切な役割を果たすのでは。今年度からは復活してもらいたいものです。 皆なの顔を見てわいわい・・・大事なのでは・・・と思います。
44.	色々な活動をしてみえる様ですが、一部の人達が重点的に参加している事が多く、少し興味を持ってもその中に入つて行きにくい雰囲気がある、（以前いくつか参加したが仲間内ができていて居づらく感じました）それ以来参加していません。
45.	仕事に強制的な参加をさせないこと。
46.	田原の活動をもっとリアルなことで情報を発信するとよい。ツールはLINEによるイベント発信や各グループや田原みらいづくり協議会の活動を随時発信していくことが良いと思います。近年はスマートホンが一般的になっているので、ここで情報を発信を多く出していくと良いです。
47.	子供も大きくなつくると、地域の方との交流も少なくなつてしまつるので、交流できる場を作る。若い世帯でも、参加出来る様な運動会とか、中学生や高校生もボランティアに参加出来る様な活動がもっとあるといいと思いました。

48.	野良猫を処分するか、避妊処置をしないと増えていくと思う。毎日フンが臭い。 近所の会社（瑞穂製作所）の人や、迫間台に住んでいる人が野良猫にエサをやっているのを見たが、そのネコは他人の家の庭でフンをしていくのだろう。
49.	縦と横の繋がりができると良いです。
50.	・自治会組織の改革、改善が必要。お隣の美濃加茂市の方に負担軽減を考える時代にきている。 ・閉鎖的な雰囲気を無くす。よそから来た者を素直に受け入れず、色眼鏡で見る様な感じがする。うちに籠っていて外界を見ていない様な雰囲気がある。 ・一時的に田原に滞在している方(中日本専門学校や中部学院大の学生さん、転勤で工業団地に通っている会社員さんなど。)を巻き込んで田原のファンになってもらう。地元に帰っても田原を思い出してもらい交流人口を増やしていく。 ・高校生や大学生、20代の若者の意見を聞く場を設けるべき。みらいづくり協議会は高年齢者が多いと思います。若者部会を設けてはどうか。 ・地域の魅力(自然豊かで静かな環境)を他地域にしっかりと発信していく力が必要。 ・地域の公共交通機関を整備する。事前予約が必要なバスは病院の定期通院などには便利だが急に思い立った時に乗れないので使いにくい。かといってタクシーでは料金がかかりすぎるので。
51.	嫁いできたばかりで何も知らない為、義両親や地域の人との交流を増やして行きたいです。近所の方たちはとても親しく接してくれたりとか、温かい人達ばかりの印象がある。
52.	知らない間にいろんなことが決まり、知らない間に物事が進んでいるのはどうかと思います。例えば公民館の建替えですが、全てが決定後に知らされました。新しくする前から一度も利用することがなかったのと、新しくなってからも結局一度も利用しておりません。そんな施設を新しくする必要はあったか?と疑問がありますが、そういった議論や多数決をとるような場所や場面もないのもどうなのかと思います。逆に、全くそういう集まりもなく、役員でなければ年に3回掃除と草刈りがあるだけなので、曆通りの休みでない仕事をする身としては煩わしさはなく、楽ではあります。行事に関しても、ウォーキングなどは仕事の関係で知ったのが最初でした。おそらく仕事をしていなかつたら全く知らずに終わっていたと思います。あとからこの地区に入ってきた人には、全くといつていいほど、情報が入りません。なんなら知っている前提で全ての事柄が進みます。地域に住んでいる人のことも知っている前提で話をされます。田原に住んで10年以上になりましたが、いまだに分からないことがあります。その辺りどうにかしないと、と思います。
53.	田原は自然が豊かで住みよい地域だと思います！だけど地域活動がこんなにあるとは知らなかったので、もっと情報を拡散して知れ渡るようにすればいいと思います。
54.	昔ながらの地域の形を継続するのは困難。団塊世代に押さえつけられている若い世代の本音の意見を取り入れることができない限り、この地域は変わらない。
55.	若者の考え方方が変わっているので、自分達の考え方では合わなくなっているので分からぬ。
56.	昔からの習わしにとらわれない、移住者が住みやすい状況にすることが必要だと思います。
57.	自治会活動が多すぎて家庭の負担が大きい。効率化したり、従来のやり方をブラッシュアップしたり、新しい意見や考えを柔軟に取り入れて欲しい。
58.	①今後免許返納した時にどう暮らしていくのかとても不安に感じている。 ②高齢者のみの家族で地域参加の草刈り(水土里の会)の不参加が認められていない。 ③区の総会も欠席の場合は日時を改めて参加するようペナルティが設けられている。委任状の提出にして欲しい。

59.	<p>もう少し地域内の交流が増えるといい。コロナ禍もあってか、近隣との会話も減っている。また、田原は外国人が多いが、その人たちとも気軽に交流できる場があつても良いのでは？互いに言葉を教えあつたり、その国特有の料理を交流したり。せっかくだから、互いに異文化理解できる地域でありたい。</p> <p>また、側溝を全て蓋して整備してほしい。お金がないのかもしれないが、ゴミを捨てられたり、雨の日に溢れて危険であつたり、整備してもらえるところはいつも議員などの息のかかった所ばかりではないか？と思ってしまう。どういう基準で整備費用は使われているのか？辛い思いを何十年もしている住民はたくさんいる。</p>
-----	--

【人口減少】

1.	地域の過疎化が進み、住民も減る、交通の便も減るなか、何かしらの振興策を見つけ出さないといけないと真剣に考えるべきです。
2.	まず子供が地元に残りたくなるよう、自治会、祭り、イベント等のシステムをアップデートするべき。
3.	子供が少なくなってきたように感じます。若い夫婦が引っ越して来れるような魅力的な取り組みが必要だと思います。
4.	地域のつながりが薄くなるながればもう止められないでしょうし、正直に言って自分が地域の役をやつたり行事に参加するのは避けたいと思います。しかし、高齢化ばかりが進んで住む人が減っていくのは寂しいですね。というわけで、最優先になるのは新しい世帯が増えるのと、子供が減らないことになるでしょうか。
5.	小さな子どもが安心して暮らせるような地域にして過疎化を防ぐ事ができ、高齢者も住みやすい地域になる事を願います。
6.	東田原は高齢化が進み、後継者となる次世代が極めて少ないため、30年、50年先の明るい未来が想像できない。他所者が入ってこなくても、昔からの地域住民だけで地域運営が出来たからだと思う。逆に他所者でも入りやすい(入居したいと思える)地域にならないと、人は増えない。自治会費など若年層や高齢層でも負担することに無理がないような経済的な優しさが必要なのでは…。地域活動が出来る世代とそうでない世代があると思うが、世帯全てが参加することを強要されると地域活動にはネガティブなイメージしか残らない。
7.	子どもが減り続けているので、田原地区に人が来るような対策をして欲しい。
8.	若い人達が住みたいと思うような地域になって欲しいです。
9.	交通の便がよいので人口を増やせるといいなあ。
10.	田舎なので昔の風習などが多く、成人したら田原から離れていく人が増えているような気がする。若い人たちが住みやすいような子供や若者に対してのイベントや情報提供を行うような環境づくりが必要であると思う。高齢者が増えているのに車がないと生活ができなく不便だと思う。交通の便についてはバスやタクシーなどがもう少し普及すると住みやすい町になると思う。

【高齢化】

1.	高齢者が増えていることは今後の課題だと思います。 買い物とか病院への交通手段に不安を感じています。
2.	年齢が高くなると外での活動の参加が難しくなり、自分がお世話してもらう側になります。家にいて電話で相談できたり、ゴミ出しや草刈りを電話でお願いできるところがあるといいなと思います。

3.	桜台に住んで30年以上経ちます。当時は子供も多く活動がありました。近年は子供がめっきり減りました。寂しい気がします。住民も高齢化しています。車が無いと生活するには不備です。今は運転していますが心配です。
4.	高齢者が多くなるので、自宅でできる限り暮らせる様な地域になるといいと思う。車があると便利な所があるが、車がないと閉じ籠りになってしまう、外出支援、自宅から目的地までが安く移動できる。近所のおじいちゃんおばあちゃんに子供をみてもらい、子育て中の夫婦がリフレッシュできるボランティア。お年寄りと過ごす子供達お互い元気になる様に思います。
5.	高齢者が多くなるため、常に隣近所の人の事を心の片隅に気にかけておく。そのために班長や自治会の役員などもいろいろなイベントを計画して、常に気を付けお互いに助け合える町内づくりを進めていくことが必要だと思う。
6.	マイカー必須の車社会地域。運転できない状況の支援策や、高齢者の引きこもり防止、世代を超えての交流の場所が参加しやすい形であるといいと思います。
7.	このアンケートをしてみて、田原のイベントに全く参加していないことに改めて気づきました。桜台も高齢者が増える一方だと思います。住民が協力して、住みよい田原を作れたらいいですね。そして、新たに若い世代にも魅力のある地域にして、活性化していくないと、さびれてしまいます。子育て支援と高齢者支援が大切だと思いました。
8.	高齢者の方の移動手段の確保と健康増進。
9.	若い世代が流出して、高齢世帯が多くなっている。自治会活動は今後大丈夫でしょうか?
10.	高齢になり車による移動ができなくなるのが将来不安。
11.	高齢者が多くなっているから定期的な足となるバス等の見直し、高齢者が気楽に立ち寄れる憩いの集まり。
12.	買い物難民が増えるため移動販売が必要。高齢者が増えるため移動できる手段。
13.	高齢者の移動手段をどの様に確保するか。高齢者社会に於いて自治会活動をどの様に継続するか。

【日常生活・公共交通・道路】

1.	買い物や病院等へ行くための交通手段の確保をしてほしい。
2.	田原地区内より外への買い物、病院への足の確保。
3.	もう少し交通の便が良くなるといい。昔は桜台までバスが走っていたが今は無い。車がないと不便な地域から脱したい。
4.	車がなくては交通の便が悪くて先が不安。年代に合わせた活動があると良い。交通の便が悪いので店ができるとか出張カーなどで野菜をお値打ちに売りにきてもらったり（土、日、朝など）高齢者や働きに出ていている者が家にいて利用できる時間にあるとよいと思う。
5.	高齢者が増え、交通手段が少なく買い物や通院に困っている人が多い。市内巡回バスの路線を増やしたりボランティアによる送迎サービスなどの対策を検討してほしい。みんなの家は、施設入所者を集めて参加させておられるように思うので、あまり参加希望しない。
6.	自家用車が年令的に移動手段として利用出来なくなった時、買物や病院等へ出かける事が可能な日常になる事に期待する。
7.	鉄道がないのでバスは活用したい。下迫間地区は自動車移動が主ですが、学生の移動手段がない。市内バスは常時運行してほしい。

8.	徒歩でしか動けない人への美濃加茂、坂祝、鵜沼、犬山方面へのアクセスを良くしてほしい。田原に何ヶ所か健康公園設置。散歩道作り（四季折々に楽しめるように）。小さな子供（乳児）とシニアが関わりあえる場。田原地域からのバス時間帯の見直し、美濃市のようにふれあいタクシー（1回100円で市内どこまでも）あると良い。
9.	御嶽山等の山々の景色、近くには、雉をはじめ多くの野鳥が見られる自然豊かな町ですが、日常生活の利便性という点では少々問題有りです。高齢になつたら買い物難民です。今から不安です。また他地区に比べ市をはじめ公的施設の少なさも淋しいかぎりです。
10.	高齢者が車に乗れなくなった時にデマンドバスだけではすごく不便だと思うので、買い物や医療機関に行くときの足になれるような方法があつたら良いと思う。
11.	関市と近隣市町村（名古屋、郡上、岐阜etc）への公共交通手段が無いので不便。高校又大学へ通学するに非常に不便。高齢者の移動手段が無いのが不便です。買い物難民になりかかっています。ふる里農園にもう少し食料品を揃えて欲しいです。自然は最高です。
12.	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物が便利になる。 ・交通手段が増えて便利に。 ・誰でも気軽に、若い人から高齢の人まで広い年齢層が集まる場所（公園）。
13.	住みよい地域にするには、今後高齢者も多くなるため、医療機関への通院の為に1時間30分ごとでもよいが、関中央病院方面、中濃病院方面、関市文化会館方面へバスが利用できるようにするとよい。買い物へ行くにも午前中2本午、後5時までに2本バスが定期的にマーゴ、カインズ、緑ヶ丘のパローホームセンター、オークワまわりのバスが利用できるとよい。地域づくりに老若男女多様性で多くの人が関わるとよいですね。
14.	田原の方々はみなさん優しく親しみやすい方ばかりで各務原から転居してきた。私にはとても住みやすいですが交通の便でバスも常時通ってませんし車がないとこれからは不安になります。出かける機会も減ると体力気力やる気などがなくなり介護の度合いが増していくのではと不安になるので近くに歩いていける人が集まる施設イベントを積極的に作っていただきたい。
15.	今は何とか車で買い物に出掛ける事ができるが、自動車の免許証を返納した時の買い物通院等心配な事がある。小さな乗り物でもっと細かく巡回する公共の乗り物があれば良いと思う。
16.	私の住む地域では交通の便が悪く自家用車がないととても不便な場所です。徒歩や自転車で行けるショッピングセンターや病院などはわずかです。両親が車の運転ができなくなつたら頼る相手がいません。近所の方も高齢者が多く将来が不安です。交通の便をよくして人口を増やす方法がなにかあればいいのにと思います。
17.	もっと公共交通機関を良くする。
18.	デマンドバスを利用していましたが、バスの到着時間にばらつきがあり、それがわかるように改善してほしい。スマホで予約や運行状況が分かれば便利になると思います。 ふるさと農園の近くに大きい公園をつくってほしい。
19.	桜台は公共交通の利用に不便を感じています。電車を利用したくても駅までの移動手段がなく、車の運転ができないと不便な状態です。田原地区から各務原・鵜沼方面のバス等があると便利だと思います。昨今は高齢者の増加に伴つて自動車事故も社会問題となつてるので、公共交通の充実に力を入れていただきたいです。
20.	今は車を運転しているが、数年後に免許返納になつたらどうするかが問題。移動手段の確保を望みます。

21.	豊かな自然に恵まれた住みやすい地域だと思います。将来自動車の運転が難しくなると、買い物が心配です。
22.	木曽川に扶桑～各務原へ大橋が架かると聞きますが、今から20年程前迫間山にトンネルを掘り、津保川の橋架け替え～肥田瀬に入り、市内への計画話又図面もありました。今後この計画を運動し、南へのアクセスを進めるのが田原の発展かと思われます。
23.	近くで買い物、歩いて駅があるような、車がなくても生活ができるようにしてほしい。 肥田瀬あたりから鵜沼駅までの定期バス又は鉄道があると、買物、病院などがあり、生活しやすいと思います。（予約デマンドバスの片循環は不便では？）
24.	車を運転しない者にとって、病院、買物に行くのに非常に不便である。
25.	まずは交通の便をもっとよく考えなおしていただきたく思います。私の住んでいる桜台は、岐阜バスも乗り入れてくれていましたが、乗客が少なかった為か、いつのまにかストップてしまいました。デマンドバスは事前に予約をしていなければならぬので不便です。せめて町中を走っているシティバスを走らせてください。マーゴ、東山パローの買い物も乗り換えしなくてはでとても不便。
26.	迫間山周辺の開発 レジャー施設等 名古屋方面に行く道路の新設 迫間山にトンネルを新設。
27.	30年住んでいますが、交通手段が減り、高齢化も進んでいます。大きな車でバスを出すより、少人数で乗れる車を増やしていったらどうかと。 又、買物に行けない場合、コミセンに商業者で来てもらってはどうかと。
28.	スーパー買物に不便、バスの便利さがない。
29.	確かに敷地は広いお宅が多いのですが、農道が多く、昔はトラクターと軽トラが走れば良かったのかもしれません、今時は普通車が当たり前の世の中。 住宅地にある農道は、できる限り道路にして欲しいです。
30.	公共交通機関の充実。
31.	バス停や駅などの公共交通機関を増やしてほしい。
32.	自家用車が無くては生活が出来ないくらい公共交通機関が無いので、これから先、免許証の返納や運転に対する自信など、単身では、生活面が心配で考えるところが有ります。
33.	高齢者の方の買い物のしやすさ、デマンドバスだと遠回りになり、時間がものすごくかかる。出るのが億劫になる。
34.	買い物支援には、生協の利用を推奨。 充分住みやすい地域です、問題ある地域は自治体ごとに対応した方がいい。
35.	自然が多くあり子育てするのには良い環境でした。しかし、名古屋市内の職場まで自家用車と電車を乗り継ぎ毎日往復合計3時間は何とかならないかと思いました。各務原市と閔市の大きな違いは岐阜や名古屋への公共交通機関の有無にあります。子育て世代がどんどん移住してくるような魅力ある街づくりに期待しています。
36.	民生委員さんを増やす。バスの充実をお願いしたい。
37.	車がないと不便な環境です。公共交通機関の充実を望みます。 道の駅の設置も、地産地消や雇用の創出などでいいと思います。
38.	住み良い地域にする為には、今もあるのかも知れませんが、いずれ歳をとるので車が無くても生活出来る事。買い物、病院などです。

39.	30年程前に名古屋からこの地区へ移住してきた者です。 田原地区には 地方移住で 今よく問題視されている、よそ者差別や地域行事への強制参加等のしがらみはなく 周辺都市部への交通手段が不便ですが それさえ除けば 自然環境に優れた大変住みやすい所だと思っています。地域については 現状保持することもなかなか難しいことですが 次の世代が皆安心して暮らしていける「田原地区」 を考える（本アンケート）ことも 大切だと思います。人を呼ぶ施設、催しとして 「ふる里農園 美の関」を基に プラスα（VISON etc...） してクローズアップできませんかねえ。。。
-----	--

【店舗・にぎわい】

1.	スーパー銭湯など温泉施設が欲しい。飲食店が少ない。
2.	いろんな品物が買い揃えられる店が田原地区内にできたら、楽になる生活時間が取れるのに。住民がお互い無理のない手伝いができれば話し合いもスムーズにできると思います。難しいです。ほかの地域について話を伺ったことがあります。田原地区は住民による行事が豊かだと。見直しをして続けていった方がよいことを選んではどうでしょうか。
3.	道の駅があつたらいいと思う。
4.	1.買物する所がない 2.交通の便が悪い
5.	高齢者がますます増えますが、頭のいい人もたくさんみえるので、知恵を拝借する。 田原だけで使える金券を発行して、ボランティアに参加された方に渡し、その人のしてほしいことをしてあげる。空いている田畠に麦を作つて自給自足。
6.	田原地域ならではの特徴をのばしてゆく。特産品だったり、健康の為の土地を活かしたウォーキングコースや食べる場所など整備したりする。
7.	買い物がしやすい様（徒歩、自転車などで）田原地域内に大型スーパーとホームセンターを作つてもらいたいです！
8.	住民内でのイベントがあればと思いますが、年寄りばかりでは人が集まりません。近所付合いは、良好だと思うので何とか発展させる方法があれば…しかしこロナ禍では消極的になってしまいますね…。本当に難しいと思つてしまひます。
9.	追間台に住み40年以上になり（車の免許取得する事、35年）子供たちの送迎、参観にと交通手段が必要だった為（病院、買い物）何時の間に高齢に向かいこれから自分たちは、不安いっぱいです。コロナも落ち着き次第で地域事でもっと楽しみ買い物を増やしてほしい（音楽鑑賞、健康体操、センター内を明るい部室）
10.	小中学生がいないと全然情報が伝わらず何を行つてゐるのかまったく知りませんでした。住んでいる人が情報を共有できるようにしたほうがいいと思います。魅力ある店が思いつかないのでわざわざ田原へ行こうとは思いません。大型店とかできたらいいと思います。
11.	工場団地には、沢山の企業があり、多数の方が勤めています。夜勤勤務の企業もあるので、コンビニだけではなく、24時間営業してて、なおかつ、短時間で効率よく安価で食べらるファーストフード店があるといつています。自転車や徒歩で通勤している方もいるので、ドライブスルーではなく、ショッピングがいいと思います（車の方はドライブスルーで）後、お店の中で飲食だと、色んな会社の溜まり場になつてしまふ可能性もあるし、トラブルなど起きる可能性もあるので、商品の購入のみがいいと思います。1店でいいので、商品を選ぶ種類が沢山あると、有り難いな。場所は、東工場団地入口の、今は経営していない？茶々？の喫茶店の辺りがいいと思います。

【農業】

1.	休耕地が多いので活用していくと良い。
2.	空いてる休耕田等での野菜作り/花栽培等を推進できる環境をもっと推進する。野菜/花栽培を通じ、話す機会が増え絆が深まるのでは？

【子育て支援・公園・たまり場整備】

1.	自然が豊かで住みやすいけど、車がないと生活できない！子供の習い事も送迎しないと防犯上心配なのでしないといけない。子供は自転車専用道路が欲しいと言っています。車優先の道路ばかりで危ないです。関市全部自転車と歩行者専用道路を作ることで子育て世代も住みやすくなると思います！
2.	日本全体に言えることですが、街づくりにおいて車中心のため、住民が外へ出て、いこう場所がないですね。マーゴやスーパーなどしかないため、交流ができない。ゆえに、ヨーロッパの街並のように、まずは歩行者天国のような街が常にあり、その外側を車が通る都市設計にすると、大きく変わります。その広場にはカップル、老夫婦、バーを渡り歩く私のようなひまな老人、子どもを連れたお母さんなどが集います。
3.	結婚を機に、田原地区へ越してきました。そこで"たわらっこクラブ"の存在を知り地域で子育てしているママさんのつながりができました。田原地区には、私のような県外や、市外から来たママさんが意外と多くて声をそろえてみんな言うのは、『ここ（田原）は子どもを育てるにはほどよくのどかで、ちょうどいい。でも、整備された公園がないしちょこっと散歩がてら、買い物しにいけるお店がないのが困るよね』といいます。ほどよく歩きでも自転車でも車で5分しないところに、ドラッグストアやスーパー、ママさんたちがあつまれるカフェなどがあるともっとみんな子育て世代が移住しにきそうなのになあと思います。あとは、鵜沼までの移動バスや田原地区は、坂祝町や美濃加茂市にも面しているためそこまでのスーパーなどへのバスなどもあると、自家用車以外で行けるのは車が運転できないときに便利だし安心だと思う。
4.	自然が豊かで人情味があってとても住みよいまちだと思います。今後も住みよい地域を維持するため、子育て支援、青少年育成に力を合わせて取り組んではほしいです。将来の子どもたちに田原地区を期待できたらと思います。
5.	子どもにもっとお金をかけるべきだと思います。
6.	自治会への加入が減っていること。PTAにも加入されない家庭があると聞きます。個のつながりがどんどん少なくなって高齢化が進むと考えると怖いです。まずは子育てを中心に考えたい。若い世代への支援を工夫してほしいです。地域に「じいじ、ばあばの会」みたいなものがあると面白いです。
7.	時々人々はが集まれる場を設けること
8.	ボランティア活動に貢献してくださる方に感謝しています。 子どもや高齢者、大人も皆が交流しあえる場所があつていいと思います。
9.	子どもの遊べる場所が少ないので、公園など子供たちが集まって遊べる場所ができると良い。道路の劣化している箇所を直してほしい。
10.	少しでなければ、買い物ができるので良いですが、子育てをする場合に森の中や広い田畠を運用し大きなおもしろそうな公園があると良いです。土地はたくさんあるのにもったいないです、例えば使つてない田畠を、花畠をしたりするときれいかと思います。
11.	公園があまりないので、子供が集まって遊べる公園があると良いと思う。
12.	非課税世帯となると様々な支援が受けられるが、非課税ギリギリ含まれなかつた母子家庭は生活が苦しいです。

13.	若者が中心になる活動が増えて行くといいなあと思います。子育て支援にも繋がり易く新しい発想にも期待出来そうです。
14.	地域の魅力は保育園に対して支援があること。
15.	公園の設備老化が気になるので、新しく安全な遊具を設営すると公園にも活気が出てコミュニティも広げやすい。
16.	子供を育てやすい環境をもっと整備していくためにみんなでアイデアを出し合っていく。
17.	道路整備をして欲しい。子供が遊ぶための公園が欲しい。子育て世代が暮らしやすい雰囲気作りをして欲しい。
18.	芝生が綺麗な大きな公園が有れば賑やかになるように思います。地元の生産物(無農薬が望ましい)でカフェが公園にあるとか、健康器具が置いてあるとかミニバスができるようにバスケットゴールがあるとか。

【自然・環境保全】

1.	・空地対策をしてほしい。木 草が荒れ放題になっている。 ・側溝の網 枯れ葉止め 水路に流れるのを止めるものを取り扱っていただきたい。家の前にあるので他から流れてきた物をその家の人人が片付けなくてはならないので。
2.	ウォーキングをしていると、ゴミがたくさん落ちている。 歩道に草(大きな)が生えているところもたくさんある。
3.	自然が豊かなところは大変気に入っている。間近で自然に触れ合えることは何とも幸福なことだと思います。
4.	自然を守りつつ、自然が良い。
5.	近くにある竹林から、竹の葉が飛んできて、雨どいが毎年詰まり、業者に依頼しています。山の持ち主にはなかなか言えない為ストレスが溜まります。庭にも洗濯物(細かい葉はなかなか取れません)にもつき困っています。民家の近くに山をお持ちの方はそんな私たちの悩みをご存知ないかもしれません。業者に支払う金額も高額になってきました。環境は大切です。何か良い対策は無いものでしょうか。
6.	子供が保育園に通っていた時、保育園近くの山ビオトープ、田んぼ等自然の中でたくさん遊ばせてもらい、子供にとっていい体験ができたと思います。なのでこれからも自然を大切にした地域であるといいなと思いました。
7.	自然豊かな木々に囲まれているのは季節を感じて良いことだけれど、手入れされていなければ伸び切った木々の小汚い山。ならば見通しよくすることが美しく見える。

【防犯・防災・交通安全】

1.	・田原小学校に行くまでの通学路が田畠しかなく、あぶないと思う。昔は子供が多く大勢で登下校できていたが、今は子供の数が少なく、不安しかないです。(街灯も少ないので、変質者が出ても助けてくれる大人やかくまってくれる建物も極端に少ないと思います。) ・関市としての子育て支援はとてもありがたいと感じますが、田原ならではの目玉支援があればいいなと思います。
2.	駐在所に警官を常駐していただきたいです。
3.	火災がとても多く感じます。火災の対策に力を入れてほしい。 野良猫をみかけるので、地域猫活動があるとよい。この活動なら参加したい。
4.	監視カメラの取り付け。災害への準備。
5.	近所にドロボウがいるので困っている。

6. 小・中学生の娘がいます。下校時、旗持ちなど見守ってくださるので安心しています。が…
ここ半年くらい前から、田原地区でも不審者情報が多く心配していました。田んぼや畑が続き、家などがないところなど、お近くに住んでみえ、またその時間に散歩がお好きな方は、歩きながら下校時に見守っていただけると嬉しいなあと思いました。先生や、警察の方も回っていただいているが、一人でも多くの目があったほうがより安全だと思いました。
7. 自然が豊富なので、普段の生活で子どもが様々な自然に触れられるのが良いと思う。小学校の通学路に住宅やお店が少なく、人通りも少ないので、特に低学年の子どもだけで下校している時は不安に思うことがある。（1人になる時はむかえに行っている）
近所の人が子どもの名前を覚えてくれて気さくに話しかけてくれるので、見守られているような気がしてうれしく思う。
8. 交通安全に皆が心がけて、安全な地域にしたい。
9. 路上駐車をなくしてもらいたい。
10. 街灯や交通整備面を強化することで事故防止に繋がると思う。

【生涯学習・スポーツ・イベント】

1. 子供とともにできるスポーツがあると良い。
2. 健康的で明るいまちにしよう。遊歩道、サイクリングコースなど軽く体を動かすことをまちの人々が楽しんで行う場所を作ろう。ほかの地域の人にもたくさん来てもらって、記録して（飲んだり食べたり、屋台やキッチンカーなども）景品をもらったり、表彰したりと盛り上げよう。人が集まれば必ず何か楽しいことが起きるはず。住みよいまちは明るいまち。家の中で引きこもりばかりだと体も心にも良くない。
ご年配の方にも例え十歩でも二十歩でも歩いてもらって健康寿命を一日でも伸ばしてもらおう。そうすればそれだけ地域全体にかかる医療費も減り、その分若い世代に還元できる。老人の歩いた距離に対して補助金（クーポン券など）を配り、関市内で使ってもらう。医療費が安くなるはず。孫と歩いたらポイント倍、人が集まってやったらポイント10倍など。
3. 花があふれているとよい。公民館祭りをやってほしい。子どもが集まるイベントをやってほしい。
4. コロナが落ち着いたら地域行事を再開する。
5. ベンチと日影があるところを各所に作ってもらいたい。子どもの通学や健康のためにウォーキングをされている方がたくさんいますが、休憩場所がないと思います。
子どもと参加できるごみ拾いなどあって、最後にお菓子などがもらえると参加が増えるし、子どもにとっていい経験になると思いました。
6. 田原全体で行うのは、人数が多すぎるので、まずは地域ごとでもいいので集まりやすいようなイベント（手作りゲームなど費用のかからないこと）を計画する。
7. 他地域を知る 老若男女参加の田原自治会対抗○○大会なる行事を年一回開催しては。
8. 春夏秋冬のイベントをして未来づくり協議会の知名度を上げる。
9. 地域内全員でやっているGGを区別にも、こじんまりとプレーして近親感を高めさせる行事としてはどうか。

【その他】

1. 陸の孤島となっていないか？
2. 田原地区の1. 田原の人口、2. 年齢別的人口、3. 男女別的人口 等を関市役所に想定（推定）をお願いしてはどうか。

3.	引っ越して一年で岐阜市内で働いているので地元ではないこちらはよく知りません。桜台1丁目の子どもたちが桜ヶ丘小学校に通えないのに驚くばかりです。
4.	田原は美濃加茂市。私たちは関市民です。 野菜作りをしていますが畑に不燃ごみが捨ててありました。
5.	悪臭を何とかしていただきたいです。関市に来て22年になりますが。自治会で何度かとりあげていただきましたが解決には至らずでした。冬は閉めてある為良いですが夏は結構臭います。(高い住民税を払っていますので。。。)
6.	よくわからない(2件)。特にありません。(6件)

問12 最後にお聞きします。
あなたが想像する10年後の田原の姿は・・・・。

(例) 大型店などお店が増え、活気にあふれている。
 人が減り、空き家ばかりになっている。など

【現状維持】

1.	このままの状態であってほしいと思います。
2.	今と変わらないと思う。若い人の活動を期待する。
3.	あまり変わらないのでは?強いて言えば高齢世帯が増えていそう。
4.	現状とあまり変わっていない。(10件)
5.	現状維持、自然豊かな地域。
6.	田原地区は現状維持がよいと思います。豊かな自然の中で地域の人間関係を大切にする当たり前の田原地区が続くとよいと思います。

【コミュニティー・交流】

1.	外国の方の定着増加と交流、とけ込みの問題。
2.	・外国の人が増えて、文化、習慣の違いもお互いが理解して発展につながるか、トラブルが増えるか。
3.	上記の結果(想定値)で住民がそれぞれ考えると思われる。(住民に情報を与える)
4.	どの国の人も住んでもいいさつのできる平和な田原であって欲しいと思います。
5.	高齢者の方が活動している、子育て支援、学校の参面、民生委員の活動の工夫と有償化。
6.	団地などは、子どもの人数が減っているかもしれません、高齢者の方々がこの自然豊かな田原で、体を動かして、少し運動したり、話せるサークルや、祖父母、孫と一緒に昔から伝わる文化を楽しめる会があるといいなあと思いました。
7.	子供や老人、青年が集まるたのしい田原であることが必要と考えます。多くの人が少なくなっていくことが見えます。田原全体で進めて地域を盛り上げましょう。
8.	年齢、性別、分け隔てない助け合いができている。
9.	活気あふれる様になるか、廃れるか、両極端になるように思います。 この10年で活気あふれる様になる為、人と人との結び付き、きずなを大切にしていけたらと思います。
10.	未来は明るいと思います。
11.	地域のみんなが笑顔で、安心して暮らすことができる。
12.	行事を強要され若い世代が田原から出ていってしまっている。仏頭や祭り事。
13.	国際交流活発地域。

【人口減少】

1.	迫間、小迫間などはもっと人が減って団地（桜台、向陽台、迫間台、さくらみ）も若い人は減っています。
2.	子供の数がさらに減っていると思う。
3.	自分が住んでいるか分かりません。
4.	人が減り空き家が多くなる。
5.	人口が減り活気がなくなると思います。人口が増えて子どもの姿がたくさん見られる田原になってほしいです。
6.	空き家を積極的に貸し、若い世代の移住者が増えて活気が出ている。 環境への意識が高まり、除草剤の使用が減り、蛍が乱舞するような観光名所となる。
7.	魅力が無く、人口が減る。
8.	人口が減少していくような気がします。学校がなくなってしまうのではないかと心配しています。
9.	子どもたちが増えてにぎやかで明るいまち。若い世代の人が子どもを育てるなら田原でと言ってくれるくらい健康的で明るいまちになっていると思います。
10.	今よりも寂れて寂しい街になっているような気がします。
11.	若い世代が減り、高齢者が今より増えるのではないかと思います。どの世代の人も安心安全に健康に生活できる地域にしたいです。
12.	わかりませんが、人口減と農地が心配で不安です。
13.	人は減り、活気なし。
14.	過疎化が止まらなくなる。
15.	人口が減り空き家が増えている。そうならないため交通の便をよくし、大型店など増えてほしい。バスに関して今デマンドバスしかないので定期便など増えるとよいが。田富橋より。こちらは不便で改善してほしい。
16.	若い人が増えて活気がある。
17.	私の地区では、若い世代の方が地元を離れてしまいます。帰ってくる見込みはないですが、他方、田舎に住みたいという方がいれば空き家対策にもなるので、どんどん進めていったらどうかと思います。今以上に活気のある事に期待したいです。
18.	若い世帯が増えていることが理想です。
19.	人が減っている。今の30代くらいの人が活動等にあまり参加しなくなる様な気がする。
20.	住んでいる地域は人が減ってしまうのかなと思う。
21.	住民の減少。
22.	若い世代が減少する。
23.	上記記載、伝統継承重視の意味が分からぬ行事が続き強制になるなら、少なくとも私の息子は地元に住ませません。10年後は日本の高齢化社会と少子化の影響で今よりもバランスが高齢化に高くなり、仮に行事継承の可否の住民投票しても変化は起きにくくなっているでしょう。それはそれで仕方ありませんが、先のある今の私の子ども世代が住みやすいと思って残ってもらえる地元になる事を願います。
24.	山間地 平地部、住宅団地 農村部により異なるが、人口減少は避けられないと思われる。農村部では休耕農地の増加、住宅団地農村部とも空き家が増加すると思われる。現実に昔から存在する消防団活動ができない自治会の増。など課題が人口減による縮小化、合併、統廃合が推進される。
25.	若い人は減っていそう。
26.	静かで穏やかな地域、逆に言えば、過疎化した子供の声のしない、さびしい地域。

27.	このままだと、人が減りますます高齢化が進み、子供たちがいなくなつて、空き家ばかりになつてゐると思います。
28.	人が減っている。
29.	店ができたり、交通の便が良くならないと、ますます人が減ると思います。
30.	人が減り続けている。
31.	若い人が増え活気にあふれた姿になってほしい。
32.	子どもが減り、過疎化している。若者は出でていき、高齢者のみの地域になっている。小学生が少なくなり、桜小と合併する。
33.	人が減って過疎化している。
34.	世帯交代が進み若い人が頑張っている。外国籍の方が多くなる。
35.	若い子育て世代が増えて子供が増えた田原。
36.	このような質問の前に、田原の年代別の人口がどう変化していくのかデータを作成することが先のように感じる。感覚の話でなく、やはりデータに基づき、考えないと的外れにならないでしょうか？10年後の田原小学校は存在するだろうか？統合か？
37.	人が減り空き家が増えると思う。
38.	どこの地域も過疎化が進んでいます。田原も例外でなくなると思います。

【高齢化】

1.	年寄りが増え若い人が減り不便な地域では空き家になる。
2.	今以上に若い世帯が減り高齢化する。
3.	空き家が放置されている。
4.	老人が増えつつある。
5.	人口が減り、空き家が増える。だんだんその様子が見えてきた。
6.	高齢化がより進んでいる。
7.	今以上に高齢者世帯の増加が想像されます。
8.	団地の高齢化と空き家の増加
9.	桜台等高齢になり、買い物等が困ると思うのでいろいろ考えなければと思う。
10.	今のままで人が減り、空き家が増えていると思う。交通の整備が必要だと思います。
11.	高齢者や空き家が増える。
12.	空き家ばかりになりそう。町に魅力がないままでは若い人は出でいくばかり。
13.	高齢者が増え活気がなくなる。
14.	桜台に住んでいますが現在も子供が減り高齢者が多くなっているように感じています。
15.	高齢化して人口が減っている。自動車に乗れなくなったら移動手段に困ることになる→引越す人が増える。
16.	高齢者の世帯が増え、地域の活動への参加が難しくなる。
17.	少子高齢化が進行し、高齢者一人世帯の増加。
18.	大型団地内の高齢者の増加が進み子供の数が減っているのでは。
19.	高齢者が多く、若い人、子供が減っているようなきがします。（自動車の運転ができる人には、鵜沼まで近いので名古屋、岐阜方面への移動時間が短い。比較、便利な方だと思っています。蛇足でした。）
20.	若い人達が減り、老人ばかりの世帯が増え、孤独感に襲われるであろう。あまり地域に感心がなかつたツケがまわって来たと思うが、活気のある地域にしたいとは思うし、願っています。
21.	高齢化が進み、交通手段をもたない人の支援が必要とされよりデマンドバス等の拡充が必要となる。

22.	高齢世帯が増える。新しい子育て世帯が少ないので、人口が少なくなると思います。 増え、お年寄りの方の支援に予算が必要だと思っています。
23.	団地一高齢者ばかりになっていないだろうか不安です。
24.	高齢者が減り人口は少なくなっていると思う。
25.	あまり変わりないんじゃないですか。しかし、住民は確実に年をとります。
26.	このままで、高齢者など免許返納者などは移動手段に困り移動しづらくなっている。 子どもが減っていく？
27.	少子高齢者が更に進む。
28.	地域内人口が減少し、耕作放棄地が増加していく。
29.	高齢化が進み、単身世帯がふえる心配があります。しかし、親子2世代、3世代更には、4世代で暮らせる地域に少しずつなっていけるのではと思います。よろしくお願ひします。
30.	桜台内も、高齢化が進み、若者が離れて行き、空き家も増えていくように思える。
31.	空き家ばかりになっている。後を継ぐ息子達が外に家庭を持っているから。今でも地区の人口へっています。
32.	高齢化が進み独り暮らし世帯が増え、生活にも困難を感じる住民が増える。
33.	空き家が増えて、おつき合が少なくなる。
34.	間違いなく空き家が増加すると思う。
35.	少子化で人口は少なくなり高齢者が増えて、空き家も多くなっているのではないか？
36.	高齢化が進むのではないだろうか。
37.	人が減ると思っていたが若者世代の方が3軒も増えびっくりしています。大型店は近くに色々あるので増えるとは思っていません。田原は高齢の方が多いので、空き家が少し出てくるかもしれませんね！
38.	桜台の住民も高齢になり、人口が減ると思われる。空き家も多く、自治体の存続も危ぶまれる。
39.	桜台は若者が減り子どもも少くなり高齢者が多くなっている。
40.	老人だけ空き家が多い。
41.	年をとったら話し合いの場があるとよい。
42.	とにかく高齢化。
43.	人が減り高齢者ばかりになる。
44.	老人が増える。
45.	高齢者が増え、空き家が増える。
46.	人が減り空き家が多くなっている。
47.	高齢者にだんだんになってきて、車で移動が出来ていたのが出来なくなる場合の日常生活の不安です。
48.	高齢者が増え、独り暮らし、空き家が増える。
49.	空き家が多くなっている。田畠に草がはえている。
50.	高齢者が日常生活に困る。
51.	高齢者が多く外で人を見かけることが少なくなり。さみしくなる。
52.	高齢者世帯増え 1人住まいが増えそうですね。
53.	高齢者が多く若者が少なくなる。
54.	今後増えお年寄りが増える(人は減らないと思います)。
55.	団地という地域の為に高齢化が進み空き家も増えて役員をする人も減りどんどん仕事もなくなっていき、近所つき合いもなくなっていくと思います。
56.	高齢者ばかりで家にこもっている人が多くなる。買い物難民が増える。
57.	若者の居住が減少し、老人ばかりの地域。
58.	桜台も高齢化が進むので空き家が多くなる。

59.	超高齢化と過疎化になる。
60.	若者が外に出てしまつて、高齢世帯が増える。子供の数が減る。
61.	空き家が増え、その空き家に外国人が住み治安が悪くなる。自治会を抜ける人が増え、自治会の活動を続けるのが難しくなる。木を切り、山を削り、ソーラーパネルが増える。さらに数十年後割れたソーラーパネルから有害物質が流れ出し、水質、土壤汚染が始まる。パネルの処分費用も高騰し放置される。
62.	高齢者ばかりで身動き出来なくて空き家ばかりだと思います。10年後はちょっと無理です…。活気有る方面へ自由に出かけて散策出来るのを願う。
63.	若者が少なく、高齢化してきて 空き家が増えていくのではないかと思う。
64.	・このままでは高齢者単身世帯が増えて福祉的支援を必要とする人、交通弱者が多くなっていると思います。高齢者が高齢者を見守る地域になっていると思います。反面、子育て世代が減り子どもも減少、地域の文化、伝統の継承が難しくなってくると思います。
65.	近くの方も高齢者が多いように感じます。活気ある田原になるか疑問を感じます。
66.	年寄りばかりで子供はいない。空き家ばかり。なんにもしなければこのまま過疎化すると思います。
67.	高齢化が進み施設入居者が増え、空き家率が高くなる。
68.	10年以降は、一人暮らしの世帯や、母家の空き家が増えると思います。終活を考える取り組みも取り上げてみたら。問11の答え？
69.	高齢化が進み、子どもの声が聞こえなくなっている。
70.	確実に老々介護の世帯が増え、安心して生活出来るのか不安しかないです。 バスの本数が増えれば免許返納も早めに出来ると思っています。
71.	更に高齢化する。
72.	若者が定着せず、高齢化による空き家。
73.	高齢者世帯が多い地域。
74.	高齢者の増加。空き家の増加。
75.	空き家情報をもっと広報して欲しい。
76.	高齢者が今以上に増え、孤独死や空き家が増える。若者は土地が安い地域や交通の便が良い所に家を建て、高齢者や外国人が多くなる。
77.	桜台も空き家が結構ある。これからもっと増えていくと思います。暮らし辛くなり他へ転居せざるを得ない状況になるかもしれない。
78.	特に変わらず、住む人の高年齢化が進む。
79.	空き家が増え。高齢者が多くなる
80.	空き家が微増。
81.	高齢者の増加、農地の荒れてた土地が増えている。
82.	高齢化が進み高齢世帯や独居世帯が多くなっている現状から空き家が増え活気がなくなると共に空き家からの雑草や周囲の木々の剪定のない生い茂った状態の環境になっている。
83.	高齢者世帯のお家が増えてくる。
84.	高齢化が進み人口現象が進む。

【日常生活・公共交通・道路】

1.	車に乗れない人が多くなりお買い物などが不便になる気がします。お店が近くにあればよいと思います。
2.	・車の運転をしなくなると不便でお金がかかりそう
3.	地域的に買い物や通院に困難が伴うので、市街地への交通手段の確保が急務ではないかと考えます。

4.	道路の変動バイパス等で一般の人は通過する。高齢者は今後自転車の規則、ヘルメットルール、買い物も無く移動スーパーもなく問1、問5について未記入であったためそれぞれ便宜的に「その他」、「感じていない」の回答とした。
5.	どうでしょう？バイパス通って、地域よりも外へ出やすくなった感あり。大きく変わるでしょうか！？ご苦労様です。
6.	高齢化が進み、地域が過疎化していかないか心配している。だからこそ人の集まる場所を作っていくかないと。
7.	高齢化が進み、高齢者同士でやれることを助け合っている。
8.	買い物が不便（食品）で病院に行くにいも車がなく、市の交通手段も不便で家に閉じこもりが増え高齢者の和む場所が少なく、参加できない人が出てくる。
9.	買い物弱者等への支援に力を入れてほしい。 ネット販売に対応できる農家ばかりではない！！
10.	関市～名古屋地域の公通（鉄道）などを通して、観光などのPRして、家族で、美濃地区を楽しい、住んでみたいと思う地域にして、20～30年後を見込んだ人口増加に結び付ける事。!!
11.	空き家、空き家ばかりになる。
12.	高齢者ばかりの世界。
13.	老人が多くなっている。
14.	予約なしで乗れるバスが走っているといい。 情報が紙ではなくLINEなどで送られてくると役員の仕事が減ると思う。
15.	街路樹が整備され、街灯も明るい住みやすい街になってほしいです。
16.	高齢者が増えている。車に乗れなくなても生活でいる環境が必要。
17.	バイパスから関富岡駅までの道ができると、田原地域に活気が出ると思います。
18.	現在でも定年退職者が多くなっているので、10年後になると団地も空き家ばかりになると思う。
19.	交通のアクセスも良くなり、関市でも南東が一番発展すると思います。
20.	高齢者が増えて車に乗れなくなり買い物に困る人も増えてきそうです。近くに買い物できるところや飲食店などできるといいですね。（意見の記入でした。）
21.	今のままで発展する事はないので、寂れていくのでは？
22.	迫間台ですが小迫間の道路が広くなり通りやすくなっているとありがたいです。
23.	高齢者が今以上に多くなるので、自分の足で買い物や遊びにどこへでも行けるように交通手段、例えば移動バスなどの充実に努めていただきたい。
24.	高齢者増え空き家が多い。田畠が荒れ後継者もいない。家は減る。子供も少なくなる。
25.	名古屋方面など電車ですぐに行ける現境になっている！？
26.	夫婦二人暮らしの為、自分たちもどうなっているかわからない。空き家状態かもしれない。
27.	空き家や空き家の管理推進
28.	岐阜へ越してきてからは、どちらの家庭も家族ひとりに1台の車所有でびっくりしました。住んでみてなるほどと納得しました。移住者を呼び込んで交通の便が悪い等で若者達は大学は東京・関西方面に行き、地元に帰ってこられる方は少ない気が致します。
29.	10年度の桜台は、70歳以上の人が多いでしょう。買い物、病院など移動手段に困るのでは… 今から不安です。
30.	交通の便が良くなっている。子供が減ってしまっている。
31.	買い物する場所がすくなく高齢者や車に乗っていない方達からしたらすごく不便だと思います。そうした方達が楽に買い物出来るように交通の便をもお少しづら改善出来たらなど。
32.	公共交通機関の充実

33.	空き家が増えそう。 高齢者の方がいろんなところへ行く買い物しやすい移動手段が増えるといい。
34.	関駅から名古屋へ特急電車が開通し、中京圏のベッドタウンとして自然の中で子育てしたいアウトドア志向のファミリーが多く移り住み、高齢者はスーパーや病院へのアクセスが至便で地域コミュニティに溶け込んだ生活が送れる住民にやさしい田原になっている。といいなあ。
35.	散歩で目にするのは空き家です。高齢化社会で周りは殆ど10年以内にはどうなっているだろうと思います。自身の10年後も真剣に考えなくてはと子供達への負担など問題は山積み相談する機関ってあるんですか？
36.	住居が増え、ベッドタウンになっていそう。
37.	やはり、高齢化がまだ進んで生活上必要行動、買い物、行事、などの移動手段が絶対必要性がある、此を今から進めて下さい。
38.	空き家と耕作放棄地が増える。
39.	高齢者が増えて活気が減る。
40.	バイパス沿いに大型店が誘致されれば活気は出るかもしれないが、それは交通渋滞というストレスを伴うことになる。10年先では空き家ばかりになることはないだろうが、30年以上のスパンで考えると確実に空き家は増えると思う。世帯(人口)が減ると地域に活気がなくなり、防犯上も懸念されることが増える。農業世帯についても同様のことが言えるため、次世代の就農など誘致を本気で考えないと地域活動すら停滞する懸念がある。次世代誘致により農業に従事しない新しい世帯が入居するようになると、兼業農家はこれまで行ってきた農業の諸作業を制限されることが心配である。
41.	空き家が増えると思いますが、放置せず次に誰かに住んでもらえるようにしてもらえた人を増えるし、コンビニがあればいいなと思います。
42.	道路が新しくなる以外は人も増えずには老人が増える。未来が想像できるほど現時点で大きな兆候はみられません。しかし、名古屋方面へのアクセスが良くなれば、関市の中では鵜沼寄りですので、何か期待できるかもしれません。是非、新交通システムの再考をお願いします。
43.	高齢者が増え移動手段に困る状態を予想します。
44.	人が減る。空き家が増える。
45.	交通機関が充実している。整備された街づくり 花や緑に溢れている。
46.	空き家が増えると思う。
47.	自家用車ではない公共の交通手段が発達している。

【店舗・にぎわい】

1.	自然も利用してところどころに道の駅的な店が増える。
2.	大型店などがあったらよいと思う。
3.	衰退の一途のような気がします。
4.	田原は地域外で行くときに必ず橋を渡らなければならない。大きな災害が起きた時に支援物資が届かない可能性があるので、田原が運営する店ができ、住民が利用している。
5.	新しい家が増え様々な年代の人々が暮らせる場所。自然豊かなまま、いきいきと暮らせる場所。
6.	国道沿いに色んなお店が増えて歩いてでも買い物に行けるようになっている！
7.	田畠を利用して、グランピングやバーベキューができる施設をたくさん人があつまる場所になるかと思います、あじさんおばあさん向けの施設はもういいです。未来に目を向けた活動が良いです。
8.	確かに農業は田原にとって大事ですが、若い世代が住みやすくするために、買い物できる場所が近くにある事が一番だと思います。車の免許返納を求められる中、老人、子育て世代が歩いて全てのものが買える場所、必須だと思います。大型店舗に参入していただき、人が集まれば、田原の特産品がより多くの人に認知されて、生活も農業もwin-winの状態になると思います。

9.	車に乗れなくなった時、コンビニかふるさと農園しか買い物するところがなくて困る。交通の面でも不便。オークワは少し遠いし、近くにドラッグストア（アオキやゲンキー）など日用品と食品が購入できる店がほしい。田舎の風景も好きだけど、もう少しお店ができると嬉しい。
10.	これから先、どんどん工場団地辺りが、今以上に活気づいていると思います。
11.	移動人口も含めて活気のあるまち。
12.	分からぬが、このままだと活気に満ちているとは、思えない。
13.	活気にあふれている地域になっている。

【産業・雇用】

1.	迫間にはスーパーがない。
2.	小さな都市になっていると良いが…。腕のいい開業医、小さな商店、楽しい公園（防災倉庫）を取り囲むように住宅がある。年寄りと小さな子供の笑い声も聞こえるような。（年寄りは小さな子供を見て笑顔になり赤ちゃんは年寄りによりつく良い関係。※老人ホームの横に保育園あると良いと何かで見ましたよ。）
3.	病院、スーパーが近くにある
4.	大型店などが出来ないと人が減り空き家ばかりになりそう。田んぼが多いので休耕の雑草ばかりになるのが心配。
5.	子供がもっと少なくなってきたらどうかかもしれない。結婚し、遠くへ住む事を考える中で、田舎にも残ろうと思える環境になるよう活性化させたい。
6.	今の空き地に大型な温泉施設を作つて高齢者の方々が毎日歩いて通つてコミュニケーションが増えてもちろん若者の方もいらっしゃると刺激もあり活気ある高齢者が増えてほしい。絶対に楽しい田原になるはず。
7.	工場が増え農業が盛んになり活気がある。
8.	機械化が進んで高齢者は不便になる。空き家が増える。
9.	新しいことを取り入れることができないので、大型店誘致などの経済効果が生まれる動きができず、空き家が増え、高齢化が進み、管理されない田畠が増え町に近いながらに限界集落状態になる。それはこの地域だけでなく日本全体に同じようなところが増えると想像します。
10.	大手工場や大型店舗ができると人も集まつてくる。若者たちに住んでもらえるような街づくりを創つていく。若者に創ってもらう。
11.	団地になるかな。

【農業】

1.	手入れされていない、使われない畠や田んぼが増え、管理の出来ていない土地が増えている。
2.	このままでは雑草で自然も風景も損なわれ、空き家も増え、田畠も荒れてしまいそうな気がします。何とか活気ある田原にもどつて欲しいと思います。
3.	耕作放棄地や、田、畠の有効利用で都市部より移住していただける様な農地の活用方法を行政として指導をしていただきたい。工場や商店etcの出店など名古屋・岐阜とのアクセスが良くなればもっと活気のある地域と必ずなると感じております。自然の活用方法（農地も含め）を孝えて指導をしていただきたいです。よろしくお願いします。
4.	今とほぼ変わらないと思う。高齢化が進み田畠が荒れる。（田、畠を使った企業が来てくれたら良いと思う。）
5.	田畠が減つて住宅が増えるが、空き家や高齢者世帯も増える
6.	空き家が増える。近所にだれが住んでいるか分からない。畠の面倒が見れない。休耕地が増える。
7.	若者が減り、農地の維持管理が大変になる
8.	農業が田原地域の良い点だと思うので、もっと活性化してくれたら嬉しい。

9.	農家は今よりさらに従事者の高齢化が進み、作業ができなくなる。若い人は農業の後継をせず、田畠は荒れ放題。又、人が減り空き家が増える。空き地が増えてその空き地に大型店の出店が予想されるも、人が思った以上に集まらず閉店に追い込まれる。只自然は多い。
10.	大型店が増えると活気が出るとは限らない。この先人口減は目に見えている。色々な生産部門は頭打ちで生きていくための農業が見直されているかも・・・。
11.	・農地が草むらになるような姿が見える気がします。 ・気軽に畑をつくれるような（早朝の草刈りに苦情がない、野焼きについても）10年後であってほしい。
12.	田畠が荒れて自然に帰り、空き家ばかりの地域と新しい家の地域がわかる。

【自然・環境保全】

1.	田畠をする人が減り 草だらけになる
2.	自然がより豊かになっている。
3.	畠や川があり、自然があるので、もう少し桜があるといいなと感じています。特に川沿いを整備するといい。
4.	緑が多かった山はほとんどがソーラーパネルになり、大雨や台風で災害が増え、田舎の良い所がなくなる。
5.	"自然豊かで、いろいろな世代の方がイキイキと生活している。"と願っています。
6.	ある程度の自然に囲まれて子育てできる場所であってほしい。
7.	特に変化を求めていないので自然がたくさんある田原でいてほしいです。

【その他】

1.	問い合わせを実現していただけると10年後はガラリと変わります。
2.	近くに学校があるので生活する若者は一定数いると思います。こちらに来たばかりなのであまり分かれません。
3.	分からない。

III. まとめ

■ 回答者属性と比較（問1～問4）

- ・ この「まとめ」は、前回調査との比較を用いた報告となっていますが、前回調査と比べて、回答者数がおよそ60%減しているため、単純比較ができない可能性があります。（問1）
- ・ 年齢別構成において、前回調査ではほぼ偏りなく収集できていましたが、今回調査は高齢者層に偏りがあります。（問2）
- ・ 居住地別構成において「田原団地」の回答者数が1人しかいないため、地域性質把握として有意ではありません。（問3）
- ・ 年齢別構成による影響か、世帯別構成で前回調査から「夫婦のみの世帯」の割合がかなり増加しています。（問4）

■ 田原への愛着（問5）

- ・ 「感じている」「どちらかというと感じている」を合わせると、約74%の人が田原に愛着を感じています。前回調査と比べて1ポイント減で、変化はありません。
- ・ 地区別で「感じている」「どちらかというと感じている」を合わせた割合を見ると77.1%となり、西田原が前回調査と比べて割合がおよそ11ポイント減少しています。
- ・ 地区別で「感じている」の割合を見ると、前回調査、今回調査ともに「桜台」が一番少ない。但し「どちらかというと感じている」は、55%の値を示しています。

■ 田原の魅力（問6）

- ・ 田原は全年齢、全地域で「豊かな自然」を魅力ととらえている人が多くいます。
- ・ 「企業など働く場所が近い」の割合が、前回調査よりおよそ4.5ポイント増加し、15.7%となっています。
- ・ 年齢別では、「18～29歳」において「買い物や日常生活が便利」の回答割合が、ほかの年代より高く上昇しています。

■ 田原みらいづくり協議会の活動への参加（問7）

- ・ 参加した活動が一番多いのは、「防災・減災活動」でした。
田原地域の皆さんの防災・減災に対する意識の高さがうかがえます。

- ・合計15件の活動について、個々の活動の認知度をお聞きした結果、「知らない」の回答率が40%を超える活動が10件ありました。認知度を上げるための広報活動等の見直しが必要かと思われます。

■ 地域貢献活動やボランティア活動への参加（問8）

- ・項目別では「大切だから協力、参加したい」が前回調査より3.3ポイント増加し、8.95%となっています。（年齢別構成の影響か）
- ・年齢別で見ると「30～39歳」層が、前回調査と比べて協力的でない回答の割合が増加しました。
- ・世帯構成別では、単身世帯が「大切だから協力、参加したい」が他の分類と比べて少なく、「参加しない」が著しく多くなっています。

■ 地域活動やボランティア活動に多くの人が参加するための方法（問9）

- ・必要と思われる取り組みは、前回調査と全体として大きな変化はなく「活動内容や役割が選択できるなど個人の負担を軽くする」が最も多くなっています。
- ・「強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす」が前回調査より4ポイント増加しています。
- ・地区別にみると「上迫間」は、「地域内の良好な人間関係をつくる」の割合が他の地区と比して高くなっています。
- ・問8で一番多かった「内容によっては参加したい」の回答者を更に分析すると、「参加しやすいように曜日や時間を設定する」「地域活動に関する情報を提供する」も必要と考えている割合が高くなっています。
- ・個々のスタイルに合わせて、自由な意思で気軽に参加できることが求められています。また、活動を継続してしいくためには、運営する人や参加する人の負担が重くならないように配慮することが重要だと思います。より多くの人が参加し、活動をサポートすることが大切です。
- ・性別に関係なく、世代や地域を超えた人々の参加が、活動を地域全体に広げ、田原地域の活力を生んでいくと思われます。

■ 地域で取り組むと良い活動（問10）

- ・住民が力を合わせて取り組むと良いと思われているのは、前回調査と変わらず「防災、防犯対策」が42.4%と最も回答数が多く、およそ8ポイント増加しています。

- ・ほかに5ポイント以上増加している項目は「買い物支援（18.0%）」「地域内外への移動手段の確保（32.4%）」「子育て支援（25.7%）」がありました。
- ・地区別で見ると「地域内外への移動手段の確保」は、迫間台、下迫間において40.0%～42.9%と割合が高くなっています。しかし、下迫間は前回調査では数値は高くありませんでした。

■ 自由記述（問11）

- ・前回調査と比べて、大きな差はありません。

■ 想像する10年後の田原（問12）

- ・前回調査と比べて、「空き家」「高齢」の語句の頻出・回数が増加しています。

（問12）近畿のまちもと地域を10年後と想像してみてください。
この問題では、田原町の今と10年後を比較して、10年後には何がどう変わったのか、また、何がどう変わらなかったのかについて、お答えください。

（問12）（参考）10年後と今と比較して、田原町がどう変わったか、どう変わらなかつたかについて、お答えください。

（問12）（参考）10年後と今と比較して、田原町がどう変わったか、どう変わらなかつたかについて、お答えください。